

# 如ま九



密林の楽園

## 表紙のことは



密林の楽園



創立者・学園長・理事長  
校友会名誉顧問

片柳 鴻

蒲田キャンパス再開発の一環として、A棟B棟を建てることになり、平成17年1月に開始、18年2月にA棟完成、当年4月新学期より使用。その年の12月にB棟着工、平成19年2月に完成、この4月新学期より使用開始。現在に至る。

学生における新校舎の評判は好評であります。少子化による18才人口の減少により、教育事業初め関係企業は斜陽化の状況にあります。私立大学の40%は定員割れの現況であり、専門学校に於いても全国的に非常に厳しい状況であります。当学園の大学は平均4倍程度の応募状況であり、また専門学校については新学科の新設、その他、創意工夫をし以前の学生数を確保しております。

このような状況において、将来に備えて今後、学園経営を如何にすべきかを考えて、蒲田キャンパス再開発をしました。予ねてから校舎の耐震性には懸念しており、耐震性のある校舎に建て替える必要があり、併せて、蒲田校の再開発を計画し、最初に第一期工事として、A棟B棟を完成した次第であります。B棟の玄関ロビーに壁画を設置することになり、その原画を私が描くことになりました。その原画はセラミックス板に約30倍程にして描き、陶板タイルに仕上げました。原画の構図については西洋および日本の画集の中より選び、アンリ・ルソーの密林の風景に決まりました。

ルソーは1893年パリ入市税関を退職し、本格的に絵画の道に進まれたと記憶しております。ルソーは個性豊かな独特のテクニックの画風で有名になった画家であります。1910年の題名「夢」の作品が玄関ロビー壁画に最適であるとの皆さんの考えがまとまりましたが、その中で椅子に座る裸婦やライオンを削除し、構図を変えたいとの意向でありましたが、勝手に構図を変えることは許可されないのではないかという意見から、ルソーの画風の雰囲気を生かして、私なりに表現して描いてみました。

原画は縦115cm×横97cmのものを、壁画は約30倍の縦6m×横5.4mとなっております。壁画を設置したことにより、エントランスホールが一段と映えるようになり、学生の評判も高いとのことであります。私の画風とは異なり、苦勞して画き上げました次第です。題名は「密林の楽園」です。

## — CONTENTS —

表紙のことは	名誉顧問 片柳 鴻	表 2	宮崎県支部	20
Message	校友会会長 桂田 忠明	1	平成19年度支部事業 支部会員の集い開催予定	21
Message	日本工学院専門学校 学校長 千葉 茂	2	カレッジ紹介	22
校友会だより			情報学部・臨床工学科の今昔	30
第18回通常総会報告		3	日本工学院ニュース	32
平成18年度支部会員の集い		4	キャリアサポートセンターからの報告	32
岩手県支部		4	平成19年 教職員の退職者報告	33
福島県支部		5	平成18年度卒業式	34
栃木県支部		6	平成19年度入学式	35
群馬県支部		7	第41回かまた祭	36
福井県支部		8	第38回体育祭	36
山梨県支部		9	写真でみる校舎の変遷	37
愛知県・岐阜県支部		10	蒲田校 学科の変遷	38
兵庫県支部		11	平成19年度 かまた祭のお知らせ	42
鳥取県・島根県支部		12	かまた祭 講演会のお知らせ	42
徳島県支部		13	会員近況メッセージ お元気ですか	43
香川県支部		14	校友・交遊 集まってます	47
愛媛県支部		15	OB・OG推薦制度について	48
高知県支部		16	かまた題字作家紹介	49
福岡県・佐賀県支部		17	個人情報保護についての取組み	49
長崎県支部		18	東京工科大学ビジネススクールアントレプレナー専攻	55
熊本県支部		19	専攻長メッセージ・在学生メッセージ	56

# Message

## 校友会誌 「かまたNo.43」に寄せて

校友会会長 桂田 忠明

放送技術部 36年卒業  
セントラル電子制御株式会社 代表取締役



校友会会員の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より、校友会活動へご協力いただき、ありがたくお礼申し上げます。また、各支部役員の方々には、日頃からのお骨折りを心より感謝申し上げます。

さて、本校は、今年で創立60周年を迎えることになりました。1947年、蒲田の地に「創美学園」として創立以来、「日本テレビ技術専門学校」、「日本電子工学院」、「日本工学院専門学校」と改称し、各時代を先取りした環境・設備を整え発展・拡大してきました。そして、既にご存知のように、今年蒲田キャンパスに医療カレッジ専門の新校舎を完成させ、また専門性強化のためのカレッジ制の導入へと、発展・変貌を続けています。卒業生は、既に13万人以上を輩出し、全国は言うに及ばず世界でも各分野で活躍しております。

こうした業績を見ていると、一卒業生としても嬉しく、また誇らしい限りです。これもひとえに、創立者片柳鴻理事長をはじめとする、学校当局の皆様のご努力のお陰であると感謝申し上げます。

本校友会は、国内40カ所、海外2ヶ所の支部からなる卒業生のネットワークを構成し、それぞれが様々な活動を展開しております。親睦や情報交換の場に留まらず、この校友会ネットワークを通して、卒業生はもとより、在学生・教職員全ての本校に関わる方々が一体となった強いコミュニティを作ることにより、母校発展のための側面的支援を行っていききたいと思います。このコミュニティは、就職あるいは事業展開等の際の大きな力にもなると思います。そのためにも、在学生とのつながりがまだ多い、若い校友会会員の方々の校友会活動への積極的な参加をお願いします。若い方々からの働きかけで、在学生には、在学中から校友会を認識し、つながりを持っていただきたいと思います。

創立60周年という節目の年に、校友会としても、本校に協力しながら記念事業を行なってまいりたいと思います。校友会会員の皆様の絶大なるご支援をお願い致します。

# Message

## 校友会誌「かまたNo.43」 に寄せて



学校長 千葉 茂

校友会会員の皆様、こんにちは。

2007年の今年、学校法人片柳学園は創立60周年の大きな節目を迎えます。さらに、昨年のこの会誌の中でお伝えしましたが、日本工学院専門学校は、この4月からカレッジ制の導入という新たな体制をスタートさせました。

カレッジ制というのは、ヨーロッパの大学をイメージして頂くと判りやすいと思いますが、各学部（カレッジ）ごとに教育理念が掲げられ、独自のカリキュラムを組み、それらが1つの大きな理想のもとに集まり、連合（ユニバーシティ）として機能しております。

私どものカレッジは、クリエイターズ・ミュージック・IT・テクノロジー・医療・スポーツ6つのジャンルになり、総計32学科になっています。会員の皆様のご在学中から比べますと、随分と様変わりしているかと思われるかもしれません。各カレッジは教育ミッションと理念を明確に打ち出し、それぞれの専門性を追求しながら、相互の連携も深めており、日本一の総合学園であるメリットを最大限に活かしていけるのです。学生には今まで以上に選択肢が増え、多くの可能性を提供出来るものと自負しております。

例えば、テクノロジーの建築の学生が音楽系の科目を履修することによって、将来音楽ホールの設計に携わる可能性もありますし、逆にミュージックのコンサートイベントの学生にとっても、建築を学ぶことは舞台装置や大道具の基礎知識として役立つはずで。また、ITでプログラミングを学ぶ学生がデザインに興味を持ち、新たなビジネスモデルを構築する、といったこともあるかもしれません。このような学科間の協力体制が敷けるのも総合学園ならではのメリットです。カレッジ制に移行しても、これらをさらに強化していくつもりです。

今後はWメジャーでユニークな人材を育て、社会に大きく羽ばたいて貰いたいと思っております。すでに、ご活躍の18万人（蒲田校13万人）に及ぶ会員の皆様とのネットワークを活かし、日本工学院は弛まなき進化をして参る所存です。今後ともご指導、ご鞭撻を賜れましたら幸いに存じます。

最後になりますが、皆様の益々のご健勝、ご活躍を心よりお祈り申し上げます。

第18回

通常総会報告

日時 平成19年6月9日(土)15:00~16:30  
 於 日本工学院専門学校  
 デジタルシネシアター  
 (3号館1階)  
 出席 41支部  
 委任状 1支部(秋田)  
 挨拶 桂田 忠明 会長  
 片柳 鴻 名誉顧問  
 千葉 茂 学校長



通常総会は、本校講師で会員でもある相沢早苗さんの総合司会と平岡征男山口市支部長の議事進行により、桂田忠明会長、片柳 鴻名誉顧問、千葉 茂学校長の挨拶につづき、議案審議がなされ7つの議案すべてが承認されました。

理事長から当校創立60年の教育の集大成として、蒲田キャンパスの雄大な構想完成予想図を示しながらの説明、学校長から教育競争(大学・地方校・地元校)の厳しさ及び当校の将来構想に向けての取り組みなどの紹介がありました。

今回の第19回通常総会を平成20年6月14日(土)と決めました。

通常総会終了後は、学校関係者を交えて8号館カフェテリアにおいて、懇親会が行われ、終始和やかな雰囲気が進み、相沢さんが指導されている声優・俳優科の学生たちによる手話コーラスも行われました。

総会次第

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 名誉顧問挨拶
4. 学校長挨拶
5. 議長、副議長および議事録署名人(2名)の選出
6. 議案審議
  - 第1号議案 平成18年度事業報告
  - 第2号議案 平成18年度収支決算報告および監査報告
  - 第3号議案 平成19年度事業計画案
  - 第4号議案 平成19年度予算案
  - 第5号議案 副会長補充選任について
  - 第6号議案 60周年記念事業について
  - 第7号議案 その他
7. 議長、副議長の解任
8. 閉 会



平成18年度収支決算報告

(平成18年4月1日~平成19年3月31日)

収入の部		支出の部	
科 目	金額(円)	科 目	金額(円)
前期繰越	253,864,811	会誌「かまた」等制作費	11,141,872
校友会会費	35,328,000	総会諸費用	1,783,330
会誌「かまた」広告	520,000	地区支部長会議諸経費	2,546,219
受取利息	556,770	支部事業費	2,043,713
		校友会ウェブサイト経費	1,575,280
		事務管理費	516,217
		人件費	1,497,500
収入の部計	290,269,581	支出の部計	21,104,131
		次年度繰越	269,165,450

平成19年度予算書

収入の部		支出の部	
科 目	金額(円)	科 目	金額(円)
前期繰越	269,165,450	会誌「かまた」等制作費	11,300,000
校友会会費	33,600,000	総会諸費用	3,310,000
会誌「かまた」広告	500,000	地区支部長会議諸経費	2,500,000
受取利息	500,000	支部事業費	5,000,000
		校友会ウェブサイト経費	5,700,000
		事務管理費	750,000
		人件費	4,500,000
収入の部計	303,765,450	支出の部計	33,060,000
		次年度繰越	270,705,450

# 平成18年度 支部会員の 集い

平成18年度支部会員の集い(総会・懇親会)は、全国で約200人が集い、さまざまな趣向で開催されました。自己紹介、近況報告、役員の変更、懇親会での情報交換など、各支部とも有意義で実りある会合内容が報告されています。旧友との久々の再会となる懇親会では懐かしい思い出話にも花が咲き、和やかで充実した歓談のひとつときがもたれました。今後も世代をこえた地元校友とのネットワークづくりに、皆様の積極的なご参加をお願い申し上げます。

## 岩手県支部

■設立：平成2年10月23日

■登録会員：766名

■支部長：阿部 富美雄 E-mail iwate@kouyukai.net又はkoyukai@neec.ac.jp

## 第9回 岩手県支部会員の集い

開催日：平成18年10月7日(土) 出席者：10名

会場：上海倶楽部(盛岡市)

阿部支部長の挨拶に続き学校側の報告、役員改選の議事が出され全員に議事を諮ったが、特に意見もなく支部長の意向により全員再任された。

懇親会は支部長と副支部長と会員と事務局を含めた10名であった。

会場である「上海倶楽部」は、焼き餃子が大人気で、テーブル上に美味しい匂いの餃子が並び、最年長の会員の乾杯で懇親会が始まった。

近況報告や当時の学校生活、恩師、クラスメート、勉強方法、資格への挑戦など、各々、和やかな歓談が始まった。

会も佳境に入った頃、支部長の指示により簡単な自己紹介・近況報告などがおこなわれました。電気工学科卒業で、主に空調計装工事や制御盤関係を自営している方。電子工学科卒業で、プリント基板設計を自営して、8人の従業員で頑張っている方。本科卒業で子供の頃5球スーパーラジオを作り、その影響で学校に入り、55歳で第2種電気工事士とアナログ2種の資格を取得した方、ほか7名の自己紹介などが行なわれた。

短い時間ではあったが、新旧の会員が顔を付き合せながら、情報交換や恩師やクラスメートの近況や、リーフレットによる母校周辺の様変わり、世間話などを交えながら盛り上がり、各々楽しい時間を過ごした。



出席者：阿部 富美雄(S.43卒)／小原 克(S.32卒)／細川 廣(S.44卒)／加藤 明美(S.48卒)／細川 幸雄(S.49卒)／佐藤 精人(S.50卒)／高橋 昭一(S.51卒)／長野 司(S.54卒)／高橋 圭介(S.15卒)  
[教職員] 村林 大



## 第9回 福島県支部会員の集い

開催日:平成18年10月14日(土) 出席者:14名  
会場:姑娘飯店(郡山市)

荒支部長の開会の挨拶に始まり村林事務局から新カレッジ制の説明、医療カレッジ専用新校舎の紹介などの報告につづいて、八王子校キャリアサポートセンター香村課長からの工学部学生数の減少および芸術学部学生の増加傾向、芸術学部系関連の企業開拓などの報告がありました。

自己紹介ではテレビ専門部卒業で、ブラックノートジャズオーケストラ部でドラムを叩き、勉強より力をいれていた。各地で音楽活動をしている最中、プロにスカウトされたが、父親に見つかり強制送還させられた。現在は、音楽の才能が目覚め、作曲家として活躍している人の他に出席者全員が近況を語ってくれました。

役員改選は、出席者全員に議事を諮ったが、特に意見が無く、支部長と副支部長の意向および出席者全員の意向で全員再任となりました。

福島県地区幹事の選出では、会員間の連絡方法などとして、各地区幹事を設け、会員に関わる情報は、校友会個人情報規程に従うものとする。そして各地区幹事が決まりました。福島方面は荒 俊之氏、郡山方面は長澤 昭悦氏、若松方面は村上 雅昭氏、いわき方面は小野崎 寧彦氏、白河方面は三森 繁氏に決まりました。

引き続き懇親会に入った。出席者は14名(当日の欠席者1名)であった。

会場の「姑娘飯店」宴会室で、円テーブルを囲み支部長の乾杯の音頭で懇親会が始まりました。

近況報告・名刺交換・情報交換・当時の学校生活・恩師とクラスメートの近況・資格取得への挑戦など、また、配付されたリーフレットによる母校周辺の様変わり、世間話などを交えながら盛り上がり、有意義な時間を過ごした。

最後に集合写真を撮り支部の集いを終えた。



出席者:荒 俊之(S.57卒)／引地 清(S.35卒)／長谷川 博順(S.43卒)／三森 繁(S.45卒)／伊藤 晃(S.49卒)／櫻田 浩二(S.49卒)／村上 雅昭(S.50卒)／石川 正直(S.53卒)／長澤 光男(S.55卒)／長澤 昭悦(S.58卒)／高橋 晃(S.61卒)／古川 芳栄(S.58卒)  
[教職員]香村 道憲／村林 大



## 第9回 栃木県支部会員の集い

開催日:平成18年10月15日(日) 出席者:8名

会場:「宇都宮トヨーボール」[ホテル エストイン](宇都宮市)

支部総会の前にボーリング大会が行われた。

全員久し振りのボーリングで、気持ち良い汗を流した。

ボーリングの点数計算は、すべてコンピュータ化(自動化)されており、ボールを投球するだけなので、遠くの10本のピンに神経を集中できるようになっている。

結果は、ストライクあり・スペアーあり・スプリットあり・ガータあり・ファールありと、各自の点数表は賑やかになっていた。

支部総会では三浦支部長の開会の挨拶に始まり平松顧問の報告、八王子校キャリアサポートセンター香村課長の報告、村林事務局の報告に続いて役員改選が行われた。

支部長より役員改選の議事が出され全員に議事を諮ったが、支部長の意向により全員再任となる。および、新幹事に小向栄毅さんが加わった。懇親会の出席者は、8名であった。幹事の芳賀さんによる乾杯の唱和で懇親会に移った。

対面式のテーブル上に並べられた、舌と眼を楽しませてくれる料理を食べながら、和やかな歓談が始まった。(近況報告や当時の学校生活、恩師、クラスメイト、勉強方法、資格への挑戦など)会も佳境に入った頃、支部長の指示により、簡単な自己紹介・近況報告などに移行した。情報処理科卒業で、青森県八戸市出身であるが、卒業後は、埼玉県から山梨県へと就職し、現在は、奥様の出身地である栃木県で勤務している。バイクツーリングを趣味としている方の他に出席者全員が近況報告などを語った。

時間を忘れるほど盛り上がり、顔を付き合せながら、情報交換や恩師やクラスメイトの近況や、リーフレットによる母校周辺の様変わり、世間話などを交えて有意義な時間を過ごした。

会も終わりに近づいて来た頃、ボーリング大会の成績発表と表品授与式となった。ボーリングに参加した6名には、第1位から第6位までの賞品を、遅れた2名には参加賞がそれぞれ授与された。

最後に集合写真を撮り支部の集いを終えた。



出席者:三浦 専治(S.41卒)/芳賀 功(S.36卒)/川岸 稔(S.38卒)/小向 栄毅(S.63卒)/吉田 典子(S.56卒)  
[教職員]平松 義雄/香村 道憲/村林 大



## 第9回 群馬県支部会員の集い

開催日:平成18年10月21日(土) 出席者:23名  
会場:銀座ライオン 高崎店(高崎市)

支部総会は滞りなく議事が進行され、最後に役員の改選が行われた。新支部長には山口剛さんが選ばれた。

懇親会では山口さんの知人で、セミプロの腕前の方によるマジックショーが行われた。

金属のリング、ハンカチ、トランプ、スポンジボール、紅白の紐などのマジックの不思議な世界に、全員が驚嘆の声を上げていた。

出席者は会員21名(欠席者3名)と学校関係者2名の23名であった。

懇親会が始まる前に、記念の集合写真を撮った。

副支部長の入澤さんの乾杯の唱和で懇親会に移った。

大皿に山のように盛ってあるラム肉と野菜のジンギスカン料理を食べながら、歓談が始まった。

近況報告や当時の学校生活、恩師とクラスメイトの近況、また、支部長の用意した通常総会の資料・八王子校の写真集あるいは、配付した欠席者の葉書とFAXのコピー、そして配付されたリーフレットを見ながら会が盛り上がり、時間が経つのを忘れていた。



出席者:津田 穰(S.40卒)/入澤 弘(S.33卒)/須永 進(S.34卒)/中村 さとみ(S.36卒)/岩田 秀明(S.39卒)/長谷川 光雄(S.39卒)/坂本 光雄(S.40卒)/木村 光明(S.44卒)/久保田 務(S.48卒)/新居 孝之(S.55卒)/石関 勝(S.58卒)/前原 しげ子(S.58卒)/松浦 元弘(S.59卒)/滝田 仁昭(S.61卒)/小関 月美(S.61卒)/新嶋 修(S.62卒)/山口 剛(H.02卒)/植木 淳(H.02卒)/成塚 充久(H.03卒)/上村 浩治(S.53卒)/浅見 一男(H.10卒)  
[教職員]香村 道憲/村林 大



# 福井県支部

■設立：平成4年11月27日

■登録会員：157名

■支部長：笈田 義和 E-mail fukui@kouyukai.net又はkoyukai@neec.ac.jp

## 第8回 福井県支部会員の集い

開催日：平成18年9月30日(土) 出席者：8名  
会場：はれひより(福井市)

笈田支部長の挨拶につづいて本日の出欠者の状況報告、猪口事務局からの報告とお知らせ、校友会の現状と活動状況、学校の様子(医療学部校舎の新設、国際交流センターの動き等)、OB-OG推薦制度の説明(推薦書の資料配布)、学校案内用冊子の説明および回覧などがあり、次いで議事の審議に入った。最後に現在の役員は全員留任とし、承認され、総会は終了。

引き続き懇親会・見学会が行われた。福井では参加者の公共交通の便があまり良くないので、車で参加される方も多いため、数年前からお酒を出さずに、低廉な参加費(500円)で会合を行うようにしている。今回は石川県支部長の山岸さんも参加された。報告・総会の後、参加者の自己紹介が行われた。

全員の自己紹介が終わった後、福井テレビの送信所内の見学をさせていただいた。デジタル放送を行うために新規の機械が導入されていた。

笈田さんには一つ一つ丁寧な説明をしていただいた。電波の届く範囲の変化、他の地域との電波の重なり、デジタルとアナログ放送の画像音声の遅れ、強風に対する配慮、安全対策などなど。鮮明で快適な映像が送信できるように様々な苦勞をされている様子が良く判った。以外に思ったのが装置のあちこちにお守りが置いてあることだった。災害や不慮の事故に対する配慮だそうだ。

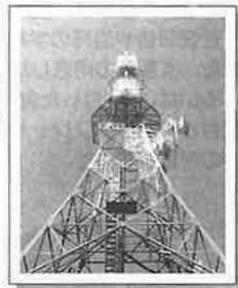
当日は快晴で、屋上によって周囲を見渡すと福井市内を中心としたすばらしい景色が眼下に広がっていた。

時代の変化と共に消費者の要求や多様性に応えるために技術も次々と革新されていくが、技術者の苦勞の一端が判ったような気がした。

見学を終え、再び会場へ戻ったときには皆すっかりうち解け、学生時代の思い出、現在の学校の変化等の話題で時間の経つのも忘れるほどだった。



出席者：笈田 義和(S.45卒)／山崎 佳之(S.54卒)／山田 栄治(S.46卒)／山内 幸長(S.47卒)／木村 公則(H.16卒)／石川県支部長 山岸 誠次(S.61卒)  
【教職員】猪口 眞美



## 第7回 山梨県支部会員の集い

開催日:18年11月26日(日) 出席者:6名

会場:かいてらす ワインクラブ(甲府市)

支部会は名取支部長の出席者減少の経緯と支部活動報告で始まり議事進行は滞りなく終了。

会則改正と役員改選では支部長の意向により会則改正はせず、役員も全員再任の提案が出された。このことに関して、会員から特に意見もなく承認された。

出席者は支部会員4名(欠席者1名)と学校関係2名の6名であった。

会場の「かいてらす」は、山梨県の特産物や民芸品などを集めて、各コーナーで展示即売をしている。(匠のコーナー:伝統工芸品、光のコーナー:水晶・宝石・研磨関係、味のコーナー:食品関係、蔵のコーナー:ワイン・日本酒)

市川副支部長の乾杯の唱和で懇親会に入った。少ない人数ではあったが、次々と出される料理を美味しくいただいた。しかし、アルコールを飲む会員が少ないためか、落ちついた和やかな雰囲気での飲談が進んだ。会員の近況報告や当時の学生生活・寮生活、恩師とクラスメートの近況などの話題と、八王子校キャリアサポートセンター香村課長を中心として、就職・求人・地場産業などの話題などで盛り上がった。

今騒がれている地上デジタル放送の話題も出た。途中で、ワインの話題となり、お奨めのワインを美味しくいただいた。会も終盤となり、今回は、何か新しい企画を検討し、今回以上の出席者であることを願い閉会した。



出席者:名取 宏典(H.01卒)/市川 芳男(S.51卒)/竜沢 信(S.56卒)/古屋 祐一(H.05卒)  
[教職員]香村 道憲/村林 大

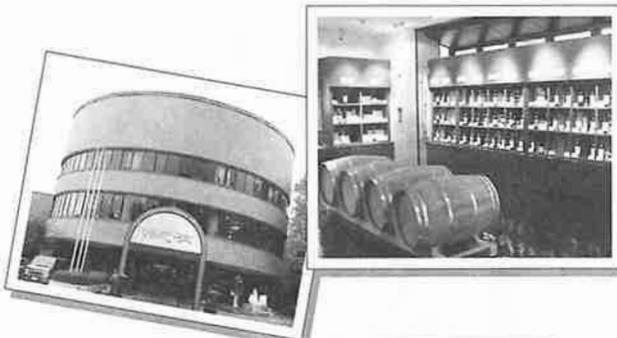
### 【会員の落書き掲示板紹介】

今は、建築の設計事務所に勤務しております。八王子キャンパスは、大きくて綺麗ですね。また、見に行きたいと思います。[メカトロニクス科卒業]

民間放送局にて、設備の構築を行っております。放送局もデジタル化が進み、いろいろと四苦八苦しながら頑張っております。家庭でも子供2人が毎日元気に動き回っています。長男も七五三の年になり、言語が少し大人っぽくなり楽しいです。日本工学院専門学校の方々のご発展をお祈りいたします。[AVシステム科卒業]

電子回路の設計から、トランジスタ回路、デジタルIC回路、マイコンアセンブリソフト、C言語ソフト、VBソフト、PLDと設計畑を歩いて来ました。(26年間の設計業務でした)しかし、ここ5年は営業技術として、マーケティングやマネジメント畑を歩んでいます。ここでは、これまでの26年間の時間が大変役立っています。現在の学生の方もいろいろと大変ですが、がんばりましょう。[電子工学科卒業]

校友会の集まる仲間が少ないので、大勢参加できる行事(施設見学会、学校見学会)などを行なうと良いと思います。[電子工学科卒業]



## 愛知県支部

■設立：平成4年11月12日 ■登録会員：336名  
■支部長：石川 隆行 E-mail aichi@kouyukai.net又はkoyukai@neec.ac.jp

## 岐阜県支部

■設立：平成5年5月19日 ■登録会員：167名  
■支部長：番場 日出喜 E-mail gifu@kouyukai.net又はkoyukai@neec.ac.jp

### 第7回 愛知県・岐阜県支部会員の集い

開催日：平成18年10月14日(土) 出席者：13名  
会場：築地玉寿司(名古屋市)

合同総会は岐阜県の番場支部長の挨拶、愛知県の朝日支部長の挨拶で始まり猪口事務局から校友会の現状と活動状況、学校の様子のご報告とお知らせがありました。

役員改正では、岐阜県支部では現在の役員を全員留任とし、承認された。

愛知県支部では石川副支部長が支部長に推薦され、承認された。

朝日さんは副支部長として引き続き会の運営にご尽力いただけることになった。

そして樋口さん、河口さんは再任された。最後に愛知県新支部長石川さんの挨拶がありました。

総会について懇親会に入った。

番場さんによれば岐阜県では愛知県内に仕事を持つ方が多く、今回愛知県支部と合同で支部会員の集いを行うことにした。しかし、時期的なこともあり、業務上でどうしても参加できない方がいて、岐阜の参加者が少ないことは残念であると述べられていた。

次いで参加者の自己紹介が行われた。

全員の自己紹介が終わった後も懐かしい話に場が盛り上がり、時間の経つのを忘れさせた。今回の参加者の中に3名のボーイスカウト経験者がおり、日本工学院専門学校OB会の中でボーイスカウトの会を作ったらどうかなどの提案があった。

また、お世話になった上山先生や大石先生をお呼びしたいとの意見もあった。

尽きることなく話が出たが、予定の時間を大幅に過ぎて、朝日支部長の発声で一本締めをしてお開きとした。次回も多くの参加を期待したいと思います。



出席者：(岐阜県支部) 番場 日出喜(S.44卒)／松田 行道(S.38卒)／河田智弘(H.06卒)  
(愛知県支部) 朝日 教仁(S.45卒)／伊藤 徳榮(S.38卒)／星月 征男(S.43卒)／朝日 洋子(S.45卒)／河口 正博(S.46卒)／石川 隆行(S.055卒)／杉江 宣明(S.56卒)／佐合 尚樹(S.58卒)  
[教職員] 佐藤 典明／猪口 眞美



## 第7回 兵庫県支部会員の集い

開催日：平成18年9月30日(土) 出席者：3名  
会場：中国茶専門店「彩香」(神戸市)

始めに新庄支部長から年間の主な活動報告、本年10月より新たな活動として現在、ネットワーク「mixi(ミクシィ)」の会員となりこれを利用して兵庫県支部会員に校友会関連の情報などを載せて会員の増加を計画中であるなどの挨拶をいただきました。

役員改選については、役員改選の議事については支部長の意向により全員再任となりました。懇親会は支部長と副支部長と事務局1名を含めた3名(1名欠席)であった。会場である「彩香」には、多種の中国茶が展示即売されており、各テーブルには「茶器」一式が整然と並べられていた。美人によるデモンストレーションにより、普段味わったことがない高価で貴重な中国茶の「入れ方の作法」を教わり、その中国茶を味わいながら歓談した。

- 国体のデモンストレーション競技の「わなげ」に参加し柔道にも励んでいる。受験勉強の苦労話など。
- 勤務先での多様なデータ処理が、「QRコード」化への移行中であること。
- 会員の集いへの参加者増への対策について。
- 個人のHPで各種情報の収集および発信および経営している系列会社間のデータ処理などについて。
- 開催中の「のじぎく兵庫国体」について。
- 「彩香」も協賛店である神戸南京町で開催される「中秋節」について。
- 個人情報保護法の取り扱いについて。
- 事務局より、他支部の会員増加方法として具体例(施設見学、講演会、ボーリング大会など)を提示した。
- デジタルカメラのカタログを眺めながら購入雑談に花が咲いた。

途中で昼食となり、近くのレストランに移動した。

そこで出された飲み物に感嘆し、マスターに作り方をお聞きしたところ、快く丁寧に教えて頂いた。

昼食後、再び「彩香」に戻り、若い美人に囲まれて記念写真を撮り支部の集いは終了した。

少ない人数ではあったが、お互いに顔を付き合せながら、情報交換や恩師やクラスメイトの近況や、リーフレットによる母校周辺の様変わりなどで盛り上がり、有意義な時間を過ごした。

次回は、出席者が増えるような企画を検討するとのことである。



出席者：新庄 吏奈(H.04卒)／松本 健一(S.59卒)  
[教職員]村林 大



## 鳥取県支部

■設立:平成4年8月7日

■登録会員:168名

■支部長:吉村 哲正

E-mail tottori@kouyukai.net又はkoyukai@neec.ac.jp

## 島根県支部

■設立:平成4年8月8日

■登録会員:158名

■支部長:藤原 義広

E-mail shimane@kouyukai.net又はkoyukai@neec.ac.jp

### 第8回 鳥取県・島根県支部会員の集い

開催日:平成18年10月22日(日) 出席者:10名

会場:「BSS山陰放送局」「厨房」(米子市)

吉村支部長および藤原支部長、両支部長の挨拶のあとに各支部に別れて支部総会が開かれた。

鳥取県支部総会は、吉村支部長、会員5名で議事進行。会則改正については、変更なし。役員改選については、全員再任となる。島根県支部総会は、藤原支部長、会員2名で議事進行。会則改正については、変更なし。役員改選については、会計監査のみ黒目龍弥さんが新任となり、他の役員は、全員再任となる。そのあと2011年にアナログ放送の終了(Xデー2011・7・24)、地上デジタル化への理由、地上デジタル放送の特徴、BSS山陰放送局のデジタル放送システムの概要などについて吉村支部長の指導で地上デジタル放送セミナーが開かれた。

つづいて吉村支部長の案内と説明で、BSS山陰放送局内を見学する。テレビ放送の仕組み、マスター室の投射式大型監視画面、スタジオ内のテレビカメラの操作などと、皆さん初めての貴重な体験をした。

懇親会の出席者は、鳥取県支部会員6名(欠席者1名)と島根県支部会員3名と校友会事務局1名の10名であった。

島根県支部長の藤原さんの乾杯の唱和で始まった。目の前のテーブルに、次から次へと数々の中華料理が出され美味しく食べながら、和やかな雰囲気できちんとした。

会員の近況報告や当時の学生生活・寮生活、恩師とクラスメートの近況などで盛り上がった。会の中ほどで、記念の集合写真を撮り一次会を終わり、遠方から来られた島根県支部の3名が帰られた後、続けて二次会に移行した。会は、閉店時間を越えて更に盛り上がった。店外に出たら、既に看板灯は消えていた。



出席者:(鳥取県支部)吉村 哲正(S.52卒)/尾崎 潔(S.45卒)/山田 日出典(S.048卒)/松原 ちあき(S.54卒)/古志敏幸(S.59卒)/竹中 慎治(S.61卒)  
(島根県支部)藤原 義広(S.57卒)/黒目 龍弥(S.52卒)/佐伯 満也(S.56卒)  
[教職員]村林 大



## 第9回 徳島県支部会員の集い

開催日:平成18年10月27日(金) 出席者:10名  
会場:徳島ワシントンホテル「チャイナテーブル」(徳島市)

支部長挨拶のあと、会則改正と役員改選の議題が出された。会則改正については、会則改正を提案、新たに顧問をもうける。徳島支部会則、第4章組織および役員の第9条5に「顧問を若干名」を追加、承認された。役員改選については、副支部長の上野 昇さん、近藤 俊興さんの2名が、新設された顧問に就任した。

懇親会の出席者は、徳島県支部会員9名と校友会事務局1名の10名であった。副支部長の上野さんの乾杯の唱和で懇親会に移った。

目の前のテーブルに、数々の料理が出され美味しく食べながら、和やかな雰囲気の中で歓談が進んだ。会員の近況報告や当時の学生生活・寮生活、恩師とクラスメートの近況などで盛り上がった。会の半ば頃になり、席次順に自己紹介となった。

●卒業後全国を転々としていたが、20年前に地元に戻ってきた。来年定年となる。孫が4人いる。●親の代より続いている電気工事店を自営している。来年50周年を迎える。10年前は景気が良かったが、今は小さい仕事でも楽しみながらやっている。●工業高校の教師である。今日ここに来るとき、駅の周りで5~6人の学生が、学生服のまままでタバコを吸っていた。なかなか注意が出来なかった。自分としては、非常に情けなかった。●今回初めての出席である。本当に卒業したのか、不安であった。6年前に地元に戻ってきた。父親の後を継いでおり、ケーブルテレビ関係(光ファイバー)で自営をしている。●いろいろな資格を取得するのが趣味で、次々と目標を決めて挑戦している。トライアスロンもやっている。●毎回出席している。自営をしており、パソコンのソフトを開発している。パソコンの組立てもやっている。ハード面の仕



出席者:佐藤 博治(S.38卒)/上野 昇(S.35卒)/近藤 俊興(S.37卒)/谷崎 吉行(S.43卒)/住友 晴一(S.47卒)/岡本 和之(S.48卒)/佐野 寛巳(S.51卒)/新谷 泰広(S.53卒)/坂東 嘉彦(S.60卒)  
[教職員]村林 大

事が少ない。今後は、医療関係にも営業活動をしたいと思っている。

●現在70歳である。卒業後は、9年間企業に勤めた。その後、自営して40年になる。最新の技術になかなかついて行けなくなった。地デジの調整が難しい。●今回初めて出席した。卒業後は、東京で勤めた。その後、徳島の東芝でサービス業をやり、さらにその後、地元のNTTに勤めた。校友会のホームページを見て、この会を知った。現在、数万円で出来る格安のホームページの開発設計をしている。●子供の頃から忍者ものの映画が好きであった。カメラにも興味があり、放送局に入りたかった。念願叶って、昭和40年に四国放送局に入社した。

現在、ラジオ担当となり、64歳の今も現役で頑張っている。以上、9名の楽しい自己紹介であった。



## 第9回 香川県支部会員の集い

開催日:平成18年10月28日(土) 出席者:8名  
会場:海鮮問屋 仲見世(高松市)

支部総会に引き続き行われた懇親会は、香川県支部会員6名と学校関係2名の8名であった。渡邊支部長の乾杯の唱和で懇親会に移った。狭い会場ではあったが、海鮮問屋だけあってテーブルの上には、海の幸が次々と出され美味しく食べながら、和やかな雰囲気、時には荒々しく歓談が進んだ。

会員の皆は、結束力があるメンバーである。話題が次々と湧水のごとく出されても、全員が即反応を示し、各自が持っている知識や考え方などを出し合って、各自の持っている知識の再認識をしていた。話題としては、地上デジタル放送、デジタルカメラ、デジタル映像、パソコンなどであった。

また、会員の近況報告や当時の学生生活・寮生活、恩師とクラスメートの近況などの話題でさらに盛り上がった。

最後に、次回も全員出席できることを祈念して、集合写真を撮り、会を終えた。

### 【会員の落書き掲示板紹介】

芸術科を卒業したのに、ITに振り回されながら生きていく今この頃です。現在は、人と人の絡みを大事に考えながら、仕事をする事を心掛けて生きています。[放送芸術科卒業]

仕事は、コンピュータのハードメンテナンスです。元々趣味でしたが、本業となった為、現在、ビデオ撮影・編集をPC(ノンリニア)で行なっていて楽しんでいます。人とのお会いが楽しい日々です。[電子工学科卒業]

校友会の集まりに参加でき嬉しく思います。少し出席者が少ないのが寂しいですが、また、お会いしましょう。[放送制作芸術科卒業]

元気で頑張っています。校友会の開催月を一度変更してはどうでしょうか。(8月とか?) [CAD設計科卒業]

事業を創めて早1年が経ち、パソコンのメンテナンス修理および、光学検査装置の調整を行なっています。パソコンで悩んだ時は対応します。[メカトロニクス科卒業]

電気店をしています。これからデジタル放送が始まり、もう技術がついていけません。パソコン、デジタルについて、ワンポイントアドバイスをお願いします。[テレビ放送技術科卒業]



出席者:渡邊 博文(S.50卒)/岸 良造(S.49卒)/舛計 康人(S.52卒)/古小高 弘直(S.52卒)/守谷 稔(H.02卒)/百々 正信(H.02卒)  
[教職員]関 里弥/村林 大



## 第9回 愛媛県支部会員の集い

開催日:平成18年11月11日(土) 出席者:11名  
会場:蟹翔(松山市)

総会の最後は、支部長より会則改正と役員改選の提案がありました。

改選案は、いくつか検討してあったが、各人の都合がつかず、2年後までは現状とする。支部長・副支部長の4名全員再任となる。ただし、今年度より「地区幹事」を新たに設ける。人選は、支部長が中心となり決定して、支部会員に諮る。決定次第、校友会に連絡し、会則を改正する。大西副支部長からも、新しい若い方が支部長になってほしい希望の意見が出た。

続いて行われた懇親会は支部会員9名と学校関係2名の11名であった。佐藤支部長の乾杯の唱和で懇親会に移った。会場「蟹翔」は、カニ専門店だけあって、テーブルの上には、カニ尽くしの料理が次々と出され、全員黙々と食べながら和やかな雰囲気の中で飲談が進んだ。また、会員の近況報告や当時の学生生活・寮生活、恩師とクラスメートの近況などの話題でさらに盛り上がった。キャリアサポートセンター佐藤課長を中心として、就職・求人全般についての意見交換なども活発であった。酔いが回る前にといいことで、支部長の指示で席次順に自己紹介が始まった。会が進むにつれて、酒豪が集まったらしく酒の量も増えていった。最後に、次回は出席者がさらに増えることを祈念して、会を終えた。



出席者:佐藤 公彦(S.52卒)/豊島 敏弘(S.42卒)/渡部 恒夫/浅尾 登(S.51卒)/湯浅 治(S.51卒)/大西 俊雄(S.53卒)/二宮 清次(S.55卒)/佐々木 剛司(S.58卒)/武智 清治(H.02卒)  
[教職員]佐藤 典明/村林 大

### 【会員の落書き掲示板紹介】

2年前に愛媛放送(株)を定年退職しました。

これまで40年近く続けてきた趣味のオーディオを楽しんでいます。ホームページを参照してください。  
(<http://www.7a.biglobe.ne.jp/~t-toyo/>) [放送技術部研究科卒業]

久しぶりに出席させて頂きました。今は学んだ学科とはあまり関係のない職種に就いていますが、大変充実した日々を過ごしています。あまり関係ない職種

にもかかわらず、社内で製品PRビデオの作成やパンフレット・カタログを作成する際に、学んだことが生かして大変役立っています。仕事から全国飛び回っていますので、蒲田に寄ることがあったら寄らせて頂きます。[音響芸術科卒業]

「電気管理士」電気の基礎1科目残り平成19年度合格を目指して勉強するも進まず。60歳現役続投、若い人と協力して、あと3年頑張ります。剣道七段審査11月名古屋市挑戦します。正々堂々、武士道の心で……。[電気工学科卒業]



## 第9回 高知県支部会員の集い

開催日：平成18年11月10日（金） 出席者：11名  
会 場：葉山（高知市）

高野支部長の挨拶および出席状況の苦勞経緯と近況報告、「総会」から「集い」への変更経緯などの報告、つづいて学校側の挨拶と報告、最後に支部長より会則改正と役員改選の提案がありました。支部長の意向により、会則改正はせず、役員も全員再任の提案がなされた。このことに関し、特に会員から意見もなく承認された。

つづいておこなわれた懇親会は、支部会員9名と学校関係2名の11名であった。久村幹事の乾杯の唱和で懇親会に移った。会場は、由緒ある店構えの「土佐しっぽく料理」店だけあって、テーブルの上には、魚肉を多く使った料理が次々と出され、美味しく食べながら和やかな雰囲気の中で歓談が進んだ。

また、会員の近況報告や当時の学生生活・寮生活、恩師とクラスメートの近況などの話題でさらに盛り上がった。キャリアサポートセンター佐藤課長を中心として、就職全般に関わる意見交換も活発であった。途中で、徳弘さん（テレビ高知）の「地上デジタル放送」に関する解説があり、最近話題になっていることだけに全員熱心に聴いていた。会が進むにつれて、酒豪の高知県人らしく酒の量も噂通りに増えていった。

最後に、次回は今回以上に出席者が増えることを祈念して、会を終えた。

### 【会員の落書き掲示板紹介】

高知県支部20期電子工学科卒業の高野と上田です。同期生の永井君、福田君、大西君、松山君お元気ですか。校友会事務局を通じて連絡を下さい。[電子工学科卒業]

50歳にて勉強させられております。[テレビ放送技術科卒業]  
クボタツ先生（久保田 達也・アメリカをオートバイで渡った先生）の講演が聴きたい。[放送制作芸術科卒業]

体力の限界か。不景気のせいかゴルフのHCが5から9に落ちました。いやいやまだガンバルぞ！ [テレビ放送技術科卒業]



出席者：高野 雅勝 (S.44卒) / 久村 匡 (S.38卒) / 上田 憲一 (S.44卒) / 徳弘 滋 (S.45卒) / 浜口 幹男 (S.48卒) / 林寛 (S.52卒) / 久保浦 尊人 (S.63卒) / 小松 長久 (S.55卒) / 安岡 要 (S.56卒)  
【教職員】佐藤 典明 / 村林 大



## 第9回 福岡・佐賀県支部会員の集い

開催日：平成18年11月17日（金） 出席者：14名  
会場：三井アーバンホテル福岡（福岡市）

今回は、元電気工事科科長で福岡市在住の平井 博先生をゲストにお呼びした。総会は司会を高島 英治氏をお願いして進行した。

穴見支部長の挨拶、学校代表 菅原課長の挨拶に加え平井先生の挨拶と近況報告がありました。平井先生は16年前に定年退職されて、現在77歳であるが、先生のモットーとして他人に迷惑を掛けないことを心がけて生活しているとのことであった。今回初めて校友会に参加したが、卒業生の方々がこのように全国的に活動していることを知り大変頼もしく思ったとのことです。日本工学院専門学校（日本電子工学院）卒業生であることに誇りを持って欲しいと述べられました。

懇親会に入る前にキャリアサポートセンター佐藤課長から挨拶と現在の学科の変遷に伴う就職状況の変化と近況の報告があった。その後、2年ぶりにお会いした方々の自己紹介を行った。

昨年、佐賀県の嬉野で懇親会を行おうと計画したが、企画者が体調不良のため延期になった話、本校入学前の経緯、在学当時の思い出、当時の勉強の苦労話、二日酔いでも資格を取得できた話、ボーリング場の思い出、卒業後の再就職に際して卒業生同士の情報交換が役に立った例、現在の状況に至るまでの苦労話・武勇伝？最近の厳しい仕事の様子、これから就職を控えた後輩に贈る言葉など様々な話題が次々に出て予定した時間を大幅に超えて会が進んだ。自己紹介の途中で種々の質問が飛び交い、中には返答に窮する珍問奇問も飛び出し、一同爆笑の渦に包まれた。電気工事士の資格を持っていると就職に大変有利になるとの話もあった。還暦を超えて電気工事士の資格を取得された方もいた。この地区の会員の方々は同業者の方が多く、皆すっかりうち解けており、和気藹々とした雰囲気で行われた。初めて参加された方がこんなに楽しい会だとは思わなかったと話されていた。このあと過半数の方々がタクシーで2次会になだれ込み、更に盛り上がり福岡の夜は更けていった。

次回（来年？）の「会員の集い」でも皆、元気な顔を拝見したいと思いました。



出席者：穴見 誠（S.45卒）／竹下 巖（S.36卒）／渡邊 正弘（S.47卒）／前田 昭博（S.49卒）／内之倉 健吾（S.50卒）／宮崎 秋信（S.50卒）／古森 真一（S.53卒）／高島 栄治（S.53卒）／井上 康裕（S.61卒）／吉村 信次（H.08卒）  
【教職員】平井 博（元電気工事科科長）／佐藤 典明／菅原 宏之／猪口 真美



## 第8回 長崎県支部会員の集い

開催日:平成18年11月18日(土) 出席者:9名  
会 場:ホテルセントヒル長崎(長崎市)

2月に行われた九州地区幹事会の報告など釘山支部長からの挨拶ならび報告につづき会則改正では、役員の方々の出席率が悪いのでは是非出席していただくように促して欲しい。何とか支部の活動を活発化させたい。2年に一度ではなく、年にもしくは半年に一度の頻度で集まることは出来ないだろうか。などの意見をいただいた。

役員改正については、副支部長の人数については3名以内とし、西尾 和弘(再任)氏と浦田 真治(再任)氏を指名し、あとの方は後日顧問の田川氏と相談して、検討した結果を事務局に報告することになった。

懇親会に入る前にキャリアサポートセンター佐藤課長から挨拶と現在の学科の変遷に伴う就職状況の変化と近況の報告があった。その後、田川顧問による乾杯の御発声があり、懇親会に入った。

会場内には円卓テーブルが2つあり、大皿の料理が次々と運ばれた。初めはそれぞれのグループに分かれて話し合いが始まったが、時間が経つにつれて、メンバーが入れ替わり、在学当時の話、最近の学生気質・学校の現状の話、大手量販店の台頭で、現在の家電業界(特に個人経営)の厳しい現状などの話、デジタル化に伴うテレビのハード・ソフト面での技術革新のため、従来の技術や経営方針では立ちゆかなくなっている現状などが話し合われた。

在学中に新聞奨学生で頑張った話や夜間部で一生懸命勉強した話も披露された。また、現在、環境関連施設に勤務しな



出席者:釘山 威(S.44卒)/田川 保利(S.30卒)/池田 多士郎(S.47卒)/山内 源昭(S.51卒)/浦田 真治(S.52卒)  
高橋 浩司(S.61卒)  
【教職員】菅原 宏之/佐藤 典明/猪口 眞美

がら電気工事士の資格を取得した方がいた。この方は一昨年この会に出席した際、菅原先生に電気工事士の資格を取得したい旨の話をし、その後メールでアドバイスを受けつつ目標を達成されたとのこと。工学院時代に教わった技術が50年間にわたって、自分の生活の糧になっていることに感謝の意を表す方もおられた。長崎支部会員の集いに出席された方々は皆、テレビ関連学科を卒業された方々であり、業界事情に精通しておられた。あっという間に予定時刻を過ぎ、一次会がお開きになり、次回の再会を約束しつつ集合写真を撮らせていただいた。その後も余韻を楽しむかのよう長崎の夜は続きました。



## 第9回 熊本県支部会員の集い

開催日：平成18年11月18日(土) 出席者：18名  
会場：メルパルク 熊本(熊本市)

清田支部長の開会の挨拶につづき、講師相沢早苗先生をお招きして講演会を開催した。

1. 俳優の田村 正和とのドラマ共演(お天気お姉さん役)時の裏話

●プロ意識、プロ根性について学んだ。

2. 整体に興味を持ち、それに関わる経緯や資格取得など。

3. 実技講演(配付資料：テーマ「自分が自分の主治医になる」)

●相沢先生との「後出しジャンケン」対決(脳刺激運動)

●資料の解説と実技指導

<例>あ：足で書きましょう あいうえお(腹筋・頭)

い：椅子から立つとき胸をはる(スクワット)

う：腕を挙げて、わき腹伸ばし(二の腕・背中全体)

↓

わ：脇を締めて姿勢を正す(引き締め効果)

を：ウォーキング 目線をあげて踵から(踵で着地はすり足予防)



●出席者全員が相沢先生の指導で、頭・手・腕・足などを動かして体験した。

●相沢先生の人柄・器量の深さなどを改めて再認識した。

懇親会の出席者は、支部会員15名(欠席者2名)と学校関係3名の18名であった。

会場の「メルパルク熊本」は、郵便局の施設で宿泊施設のほか、会議室、宴会場、結婚式場などを備えており、ウェディングドレスとタキシード姿の新婚カップルを多く見かけた。また、文金高島田と袴姿のカップルも見かけた。上田副支部長の乾杯の唱和で懇親会に入った。

綺麗に装飾された円卓の上には、中華料理が次々と出され、美味しく食べながら和やかな雰囲気の中で歓談が進み盛り上がった。会員の近況報告や当時の学生生活・寮生活、恩師とクラスメートの近況などの話題でさらに盛り上がった。酔う前ということで、支部長より自己紹介の指示が出た。名簿順に自己紹介に入った。

「熊本気象庁に勤めており、南極観測隊に参加したことがある。」「当時は、朝日新聞奨学生で頑張り、現在は、八代市市議会議員をしている。」「夫婦でトライアスロンに挑戦しており、大会にも出場している。」「日本テレビ系列企業でプロ



出席者：清田 茂信(S.48卒)／上田 年秋(S.49卒)／家入 信明(S.50卒)／森本 正夫(S.52卒)／太田 広則(S.54卒)／一村 和也(S.55卒)／永野 誠(S.56卒)／柏木 寛仁(S.57卒)／川上 恭生(S.57卒)／松本 高士(S.58卒)／村枝 淳(S.58卒)／徳田 俊一(S.59卒)／立山 秀登(S.62卒)／入田 健次(H.01卒)／川上 孝広(H.02卒)

【教職員】相沢 早苗(演劇科講師、司会・介護予防運動指導員)／関 里弥／村林 大

デューサに携わっており、「ハンセン病」をテーマとしたビデオで最優秀賞を受賞した。」「老人ホームに勤めていたときのお婆さんの生命保険料の絡みに興味を持ち、現在の生命保険会社に勤めた。」など全員が自己紹介をした。

会が進むにつれて、ほろ酔い気分の雰囲気になってきた。

会の中盤で、相沢先生の「南京玉すだれ」の芸が始まった。歌と出席者の手拍子で、プロ顔負けの5つのパターン(釣竿・国旗・阿彌陀如来・しだれ柳・虹)を披露してくれた。全員が一つ一つのパターンを終了するたびに、絶賛の大きな拍手で応えていた。会も終盤となり、川上 恭生さんの中締め「一本締め」で会を終えた。

### 【相沢先生の自己紹介】

歌手の和田アキ子との交流、お天気お姉さんの経歴、整体に興味を持ち、資格を取得した経緯、演劇科の学生と手話コーラスとの拘り合い、今年の紅白歌合戦で、和田アキ子と手話コーラスでの共演が実現するかも?



# 宮崎県支部

■設立:昭和63年10月21日

■登録会員:335名

■支部長:本田 英喜 E-mail honda@iwk.bbiq.jp又は koyukai@nec.ac.jp

## 第9回 宮崎県支部会員の集い

開催日:平成18年10月21日(土) 出席者:28名  
会場:居酒屋あじひで(宮崎市)

総会は安楽氏を議長として議事が進められました。

本田支部長の挨拶、猪口事務局からの校友会の報告とお知らせにつづき役員改正では福田義人氏に代わり谷口良一氏が副支部長(東北地区担当)に推薦され、承認された。その他の方々は再任が承認された。

また今回は校友会事務局の猪口眞美先生が元環境科学科科長をされていたということで支部では講演会を依頼しました。「人はいつまで地球に住めるのか」という題でしたが先生のお話中は誰一人私語をするものもならず、引きつけられる内容に真剣に耳を傾けていました。地球環境問題をたくさん資料を基にわかりやすく説かれる先生のお姿に、私たちの学校にはこんなに素晴らしい先生と学科が存在していたのかと改めて母校を見直したというのが多くの出席者の率直な感想でありました。

懇親会は全員で28名の出席者でしたが、そのうちの2名は猪口先生の教え子で初参加でした。遠くから恩師のお話を聞こうと泊まりがけで来てくれました。

キャリアサポートセンター課長の佐藤典明先生と九州地区連絡事務所長の米満幸一先生も参加され就職状況、進学状況の模様をお聞きし、先生方の手厚いご支援を感じとることができました。母校先生方に心から感謝したい気持ちです。

佐藤典明先生が述べられた、全国を廻りましたがこんなに多く集まる宮崎の頑張りは素晴らしいという意味のお言葉に出席者全員が大きく励まされました。今回は延岡市の竜巻被害、10月になって降雨が全くなく水やりなどの農作業で忙しくしている人、家族の不幸やむを得なく参加できない人が何人か重なりました。しかし次回の出席を約束してくれるなど宮崎らしい校友会の輪が確実にひろがっています。

支部役員も全員が役割を果たしたのも今回の成果でした。



出席者:本田 英喜(S.39卒)/大野 高志(S.40卒)/中島 栄宗/末次 富男(S.00卒)/鶴田 博巳(S.47卒)/宮尾 秀穂(S.50卒)/川越 良一(S.51卒)/佐藤 三郎(S.51卒)/谷口 明(S.51卒)/岡田 洋(S.53卒)/谷口 良一(S.54卒)/安楽 芳紀(S.55卒)/井出 保宏(S.55卒)/杉田 直人(S.58卒)/井上 三千代(S.60卒)/田端 真澄(S.60卒)/岡崎 真裕(S.63卒)/兒玉 康光(S.63卒)/田中 伸悟(S.63卒)/上村 孝志(S.63卒)/渡部 美紀(H.02卒)/林田 知(H.13卒)/大崎 寛治(H.13卒)/渡部 洋平(H.18卒)

[教職員]米満 幸一/佐藤 典明/猪口 眞美/関 里弥



支部会員の集いは2年に一度開催されます。

総会では役員改選の後、支部活動についてのご意見をお聞かせいただき、その後の懇親会では地元の校友との情報交換やネットワークづくりの活発化を図ってまいります。また、講演会、研修会、見学会、レクリエーションなどを積

極的に企画している支部もあります。

お知り合いの校友、姉妹校(八王子校・北海道校・東京工科大)の卒業生をお誘いのうえ、多数ご参加いただけますようお願い申し上げます。

支部名	開催月日(曜)	開催地	支部長
北海道支部	9月8日(土)	札幌市	大巻 幸太郎
青森県支部	9月22日(土)	青森市	野里 和弘
宮城県支部	11月10日(土)	仙台市	清水 幸男
秋田県支部	9月23日(日)	秋田市	高橋 伸
山形県支部	9月24日(月)	山形市	柴崎 勝
茨城県支部	10月8日(月)	水戸市	廣瀬 憲治
首都圏支部	11月3日(土)	蒲田校	桂田 忠明
新潟県支部	10月6日(土)	上越市	植木 敏郎
富山県支部	9月15日(土)	富山市	石黒 明
石川県支部	9月16日(日)	金沢市	山岸 誠次
長野県支部	11月11日(日)	長野市	峯村 理雄
静岡県支部	10月14日(日)	静岡市	奥川 宏
三重県支部	10月20日(土)	四日市市	平井 正博
京滋支部	10月21日(日)	京都市	倉持 信二
近畿支部	10月13日(土)	大阪市	中澤 広
岡山県支部	11月24日(土)	岡山市	白石 脩
広島県支部	10月13日(土)	広島市	肥後 政明
山口県支部	11月18日(日)	山口市	平岡 征男
大分県支部	12月8日(土)	大分市	麻生 和之
鹿児島県支部	12月1日(土)	鹿児島市	久山 順一
沖縄県支部	10月27日(土)	那覇市	喜屋武 光信
韓国支部	調整中		李 芙蓉
台湾支部	調整中		唐 偉倫

●卒業生の集まる会  
 群馬県支部 8月25日(土)於：高崎市  
 岐阜県支部 調整中  
 兵庫県支部 7月21日(土)  
 高知県支部 11月30日(金)18:30~20:30 高知市はりまや町「葉山」

福岡県・佐賀県支部 調整中  
 熊本県支部 調整中  
 宮古島地区 9月22日(土)於：宮古島市  
 八重山地区 9月23日(日)於：石垣市

\*日程は都合により変更することがあります。

# クリエイターズカレッジ

## クリエイターズカレッジ 副カレッジ長 佐藤 充

### 日本工学院最大カレッジ【クリエイターズ】のカレッジミッション

日本工学院クリエイターズカレッジは、産学連携を教育システムの柱に据え、企業プロジェクトによる作品制作、インターンシップを通して、技術と感性、現場力を磨き、社会のニーズにマッチした創造力溢れる人材を育成する。

・以上のミッションから今年度スタートしたクリエイターズカレッジをまとめていくと…

### クリエイター育成要素としての4つのベクトルと8つの学科群

クリエイターズ4ベクトル【表現:Art】【制作:Production】【技術:Skill】【感性:Sence】

・それぞれのベクトル配置から以下8つの学科群を再構成した



#### ■設置学科群

放送・映画科 <http://www.neec.ac.jp/broad/index.html>



声優・俳優科 <http://www.neec.ac.jp/actor/index.html>



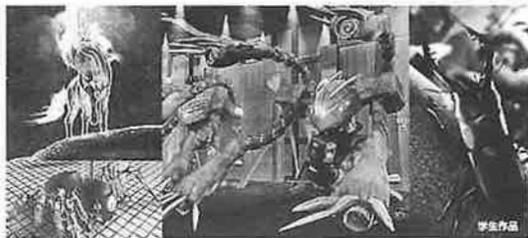
マンガ・アニメーション科 <http://www.neec.ac.jp/anime/index.html>



ゲームクリエイター科 <http://www.neec.ac.jp/game/index.html>



コンピュータグラフィックス科 <http://www.neec.ac.jp/design/cg/index.html>



Webデザイン科 <http://www.neec.ac.jp/design/web/index.html>



グラフィックデザイン科 <http://www.neec.ac.jp/design/graphic/index.html>



クリエイティブラボラトリー(4年制) <http://www.neec.ac.jp/animelabo/index.html>



## 4年制学科開始に伴う新教育システム【SORIC】の導入

高度専門士称号学科をフラッグシップに新教育システム【SORIC】を確立した

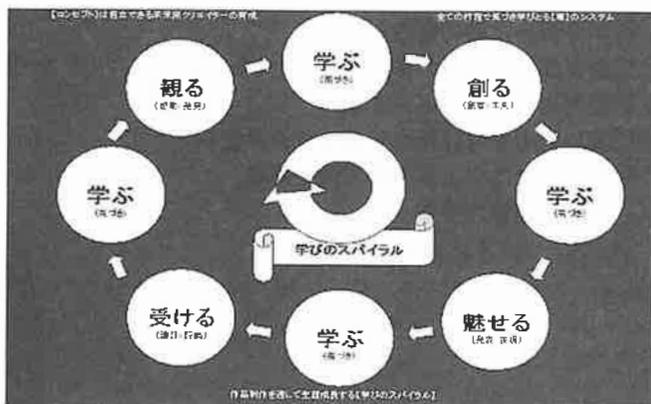
### ■ S : Skill Master (技能熟練)

→制作を通して技術(Skill)と感性(Sense)を磨く

教育メソッド【学びのスパイラル】の確立

→生涯教育をテーマにクリエイターとしての素地を鍛える

- ・コンセプトは自立できる未来派クリエイターの育成
- ・全ての行程で気付き学びとる螺旋システム
- ・作品制作を通じて生涯成長する学びのスパイラル



### ■ O : On The Job Training/OJT (実践教育)

→企業課題プログラム導入による実践教育の実施

#### 実践教育 On The Job Training

- ライスチョコパッケージデザイン
  - ・デザイン関連学科
- 在学デビュー支援プログラム
  - ・マネジメントサポートセンター
  - ・マンガ家デビュープロジェクト
- excite+GONZO主催ホームページコンテスト【SoltyRei】
- 雑誌モデルPR誌製作
- オリジナルTシャツデザイン販売
- Tokyo Head Lineフリーペーパー誌作成

他多数

### ■ R : Research Announcement (研究発表)

→学校間を超えた合同作品展の企画・運営・作品発表の実施

- 東京国際アニメフェア/東京ビッグサイト
- 東京ゲームショウ/幕張メッセ
- 合同作品展Generation-i/ラフォーレミュージアム原宿
- 合同作品展飛翔展/秋葉原コンベンションホール
- 産官学連携プログラム
- クリエイターズカレッジBlogの開始  
<http://blog.neec.ac.jp/area?a=1>
- マンガ・アニメーション科StudioCAL Official Site  
<http://studiocal.com/>

## ■I : Internship (企業研修)

→アライアンス企業連携インターンシップの実施

- デジタルフロンティア株式会社
- アニメ制作会社スタジオ4℃
- NTTラーニング株式会社
- 共同テレビジョン株式会社

## ■C : Collaboration (共同研究)

→学内外を超えた横断プログラム コラボレーションの実施

- 文化放送【明・めぐみのドリームドリームパーティ】
  - ・在学生出演中
  - ・マンガ・アニメーション科コラボレーションアニメ制作及び発表
- ゲーム&アニメーション
- 声優&アニメーションなど

## ■充実した学生生活実現のため、教務システムの改善と教職員研修の推進をおこなう

- 学生第一主義の実践
  - 豊かな学生生活の保障
  - 就職支援・デビュー支援
  - 真に実力を付けるカリキュラムの提供
  - 学校長 Manifesto の実践と推進
  - 教職員研修の推進
- クリーク・アンド・リバー社他

- 施設見学研修
- 国立新美術館見学〔写真〕



→劇団四季ミュージカル観劇 他

## ■多くの学生が在学中に海外研修参加できるプランを実施している

- 海外研修プログラム
- 米国AnimeExpo研修〔写真〕



→南カリフォルニア大学研修

- 米国ニューヨークデザイン研修
- 英国チェスター研修〔写真〕



→韓国TVスタジオ研修 他

## ■クリエイターズカレッジならではの外部アライアンス（産業界・公的機関）

- |   |  |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> CESA（コンピュータエンターテインメント協会） | <input type="checkbox"/> 共同テレビジョン        |
| <input type="checkbox"/> TAF東京国際アニメフェア人材育成委員会     | <input type="checkbox"/> クリーク・アンド・リバー社   |
| <input type="checkbox"/> 社団法人日本ポストプロダクション協会       | <input type="checkbox"/> 出版社グラフィック社      |
| <input type="checkbox"/> アニメ制作会社GONZO             | <input type="checkbox"/> 出版社講談社          |
| <input type="checkbox"/> アニメ制作会社スタジオ4℃            | <input type="checkbox"/> テレビ制作会社コスモスペース社 |
| <input type="checkbox"/> 全国高等学校演劇評議会              |  |
| <input type="checkbox"/> 関東高等学校演劇評議会              |  |



- 任天堂DSゲーム開発
- 劇団四季スタッフ派遣

## ■学生を支えるクリエイターズカレッジ特別顧問

- |   |   |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> ビジュアリスト：手塚 眞氏      | <input type="checkbox"/> アートディレクター：K2長友啓典氏    |
| <input type="checkbox"/> ゲームアナリスト：平林久和氏     | <input type="checkbox"/> 画家・イラストレーター：K2黒田征太郎氏 |
| <input type="checkbox"/> 株式会社GONZO取締役：村濱章司氏 | <input type="checkbox"/> 東京工科大学メディア学部教授：金子 満氏 |
| <input type="checkbox"/> 声優：神谷 明氏           | <input type="checkbox"/> 南カリフォルニア大学シネマティックアーツ |
| <input type="checkbox"/> 声優：千葉 繁氏           | 学部教授：リチャードワンバーク氏                              |
| <input type="checkbox"/> 劇作家・演出家：鐘下辰男氏      |   |

## ■共同研究プロジェクトの推進（例）



- 任天堂ゲーム機DSゲーム開発
- 映画【BRIDGE】共同研究プロジェクト
- 東京工科大学クリエイティブ・ラボ共同研究プロジェクト
- KI-USCプロジェクト
- 東京都アニメ人材育成委員会 教科書作成プロジェクト

## ■各科実力考査も可能な各種コンテスト参加の推進（例）

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> GATSBY 学生CM大賞2007                       | <a href="http://www.gatsby.jp/">http://www.gatsby.jp/</a>                                 |
| <input type="checkbox"/> Yahoo!JAPAN 優秀マスカラパッケージデザイン             | <a href="http://beauty.yahoo.co.jp/sevenelevn/">http://beauty.yahoo.co.jp/sevenelevn/</a> |
| <input type="checkbox"/> Yahoo!JAPAN INTERNET CREATIVE AWARD2007 | <a href="http://creative-award.yahoo.co.jp/">http://creative-award.yahoo.co.jp/</a>       |

## 総括

様々な教育改革の中で、カレッジ制を導入することで、クリエイティブ業界の求める人材像を常に探求し、企業アライアンス、顧問契約、共同研究など学外との連絡を密にすることにより、カリキュラム修正、専門性強化と実践力向上に努め、教育システムの大きな変化の牽引となったカレッジ制度のスタートです。ますます日本工学院の将来像は明確に変わりつつある。

## 医療カレッジ長 大石 清彦

### 医療カレッジのプロフェッショナル

かまた校友会のみなさま、お元気ですか。

今年度（平成19年4月）より本校はシステムが組み替えられまして、学科編成がカレッジ制へと移行します。これにともない、わが医療学部は、医療カレッジへと組織替えしました。ふりかえれば医療学部は、平成12年に医療専門課程設立準備委員会を立ち上げ、リハビリテーション関係学科と既存の臨床工学科とをあわせて平成13年に成立しました。その後、医療関係学科が次々と開設され、今回それらが医療カレッジとして統合されるに至ったものです。

新カレッジは、蒲田校・八王子校の垣根も払い、大所帯となりました。うちわけは、蒲田の理学療法学科（4年制）、作業療法学科（4年制）、臨床工学科（3年制）、臨床工学専攻科（夜間2年制）、臨床工学専攻科（1年制）、八王子の柔道整復科（3年制）、鍼灸科（3年制）、医療秘書・事務科（2年制）、診療情報管理科（3年制）などを擁します。

このような統合を図った目的は、本校の総合専門学校としての特性と、医療の専門性をあわせ、相乗効果をねらうものです。たとえば、IT関連技術は、医療事務・情報管理などに必須ですし、芸術クリエータやミュージック系は作業療法に役立ちます。また、コンピュータ・グラフィックスのモーションキャプチャー技術は、理学療法の運動計測を支援してくれるでしょう。

平成19年2月には医療カレッジ専用校舎が新築され、これが今学期より上記蒲田の医療系学科を収容してすでに授業を開始しました。この校舎は大規模のもので（ホームページをご覧ください）、ノーマライゼーションの理念のもとにバリアフリーを実現しております。最新の機器・設備をいれ、先端医療現場の環境を再現しています。その一階ホールには片柳鴻理事長の壁画（アンリ・ルソーばりの）「密林の楽園」が高々とかけられ、理事長のこれにかける情熱に圧倒されます。

医療職というものは、ひとの生命の尊重と個人の尊厳の保障を旨とする医療の担い手であって、プロフェッショナルのなかでも特別の地位にあります。倫理性・社会性をそなえていなくてはなりません。これを担う人材を養成するのが当カレッジの理念です。したがってここでは、それぞれの国家試験を通過して就職をはたすことのみを追及しません。（運転免許証を獲得するため自動車教習所へ行くのとは、わけが違うのです）しかし、国試に落ちればその目的すら果せませんから、合格率には最大の努力をはらいます。（就職は当分、売り手市場です）。そのうえで、人格の涵養に努めます。学校側は理解があり、ハード面のバックアップがあるのはありがたいことです。ソフト面をがんばらなくては、と思っています。少子化のなかにあっても、医療カレッジは近未来、さらなる発展を期待できそうです。

（医療カレッジ 鈴木三夫、医師）

### 医療カレッジ専用新校舎が誕生！（蒲田キャンパス）

最先端の医療環境をリアルに再現した専用校舎



- 7F 臨床工学科 実習室・教室
- 6F 理学療法学科・作業療法学科 実習室
- 5F 理学療法学科・作業療法学科 実習室
- 4F 教室
- 3F 教室
- 2F 医療秘書・事務科・診療情報管理士科 教室
- 1F 図書室・多目的ホール

## テクノロジーカレッジ長 山野 大星

### ■日本を代表する「ものづくり」技術を習得し、世界を舞台に活躍する技術者を養成します。

21世紀、日本が世界に発信し、世界で通用するMで始まる日本語が3つあります。

1つめは、日本の美德としての生活スタイルをあらわした言葉「MOTTAINAI」(もったいない)です。ケニア出身のノーベル平和賞受賞者であるワンガリ・マタタイ氏が世界に広めました。

2つめは21世紀の日本的な感性をあらわした言葉「MOE」(萌え)です。日本のアニメが世界で人気があることもあり日本特有の美意識を示す「侘び」「寂び」と並んで「萌え」という言葉も世界に広がっています。

そして、3つめが、日本の伝統の中で培われた技術的強みをあらわした言葉「MONODZUKURI」(ものづくり)です。日本の製造業やデザインが世界で競争力を獲得した背景には、江戸時代からのものづくりの伝統の中で培われた力、精神が根底にあると考えられています。

テクノロジーカレッジが目標とするのは、「社会のニーズと若者の希望に対応した独自の職業教育を行い、「ものづくり力」を持った技術者を育成する」ことです。テクノロジーカレッジは「ものづくり力」を持った技術者を、創造力(○まる)、技術力(△さんかく)、そして資格(□しかく)をもった技術者として考えています。

技術を習得し、資格を取得し、想像力のある技術者、「ものづくり力」を持った技術者として世界で活躍できる人材を育成することが、テクノロジーカレッジの使命であると考えています。



テクノロジーカレッジ  
カレッジ長 山野大星

### ■テクノロジーカレッジ設置学科一覧

- 電子・電気・CAD科
  - ・電子工学専攻
  - ・電気工学専攻
  - ・電気工事士専攻
  - ・機械設計・CAD専攻
- ロボット科(八王子キャンパスのみ)
  - ・二足歩行ロボット専攻
  - ・競技ロボット専攻
  - ・パーソナルロボット専攻
  - ・ロボットデザイン・モデラー専攻
- バイオテクノロジー科
  - ・医薬バイオ専攻
  - ・化粧品バイオ専攻
  - ・食品バイオ専攻
  - ・環境バイオ専攻
- テクノロジー研究科【新設】
  - ・ものづくり専攻(八王子キャンパスのみ)
  - ・資格取得専攻(八王子キャンパスのみ)
  - ・バイオテクノロジー専攻
- 一級自動車整備科(4年制)(八王子キャンパスのみ)
- 自動車整備科(八王子キャンパスのみ)
- 建築設計科
  - ・建築設計・デザイン専攻
  - ・建築CAD・製図専攻
  - ・建築構造専攻
  - ・建築設備専攻
  - ・建築施工専攻
  - ・土木施工専攻
- インテリアデザイン科
  - ・インテリアデザイナー専攻
  - ・ショップデザイナー専攻
  - ・インテリアコーディネーター専攻
  - ・フラワー・ガーデンデザイナー専攻
- プロダクトデザイン科
  - ・プロダクトデザイナー専攻
  - ・カーデザイナー専攻
  - ・家具デザイナー専攻
  - ・雑貨デザイナー専攻
- 建築デザイン研究科(八王子キャンパスのみ)

### ■テクノロジーカレッジ学びの特長

“ものづくり力”を持った一流の技術者にするための教育体制を整えています。

テクノロジーカレッジでは、ものづくり力を持った技術者を育てるために、創造力の育成、技術力の習得、資格の取得に力を入れています。工学系専門学校のバイオニアとしての確かな実績を土台に、異ジャンルの学科が共存する総合専門学校という特色を生かしつつ、“ものづくりはひとづくりから”をモットーに、新しい時代の「ものづくり教育」を行っています。

#### 創造力

テクノロジーカレッジ全学科では共通科目を設置し、学科を越えた交流を実現しています。また多彩なジャンルが揃った本校独特の学習環境を活用し、他カレッジの学科とのコラボレーションにより新しい出会いが生まれるなど、創造力が育つカリキュラムを用意しています。

#### 技術力

テクノロジーカレッジ独自の学習習得度の指標である「ものづくりスキル標準MSS」を導入しています。これにより学生が自分の実力を客観的に把握することができます。何をどう学ばいいかMSSに基づいて目標を設定し、学習することで、確かな技術力を養います。

#### 資格

ものづくり力の一角を担う重要な要素のひとつは資格です。テクノロジーカレッジでは、有利に取得が可能な認定資格も多く、在学中に3つ以上の資格取得が目標です。普段の授業はもちろん、放課後ゼミや特別講座などを実施するなど、きめ細やかなサポートを展開しています。

## ITカレッジ 副カレッジ長 野田 雅司

日本工学院ITカレッジは、1966年、専門学校で初めて本格的にコンピュータ教育を導入した、言わば「IT教育のパイオニア」です。以来40年以上にわたって社会の変化に合わせた常に新しい教育を行い、日本のIT教育をリードし、多くの卒業生の皆様が産業界で活躍されています。

ITカレッジでは、「学生第一主義」のもと、一人ひとりの個性や能力を最大限に伸ばす教育を行い、初心者から既にスキルをお持ちの方まで習熟度に合わせたきめ細やかな対応を実現しています。ITスキル・ヒューマンスキル・ビジネススキルがバランスよく学べるカリキュラムと万全の資格取得をサポートする体制、また今年度一人一台提供のノートパソコンは日本工学院オリジナルモデルの「ThinkPad Z61t」、OSは「Windows Vista」となり、即戦力になるために必要なあらゆるものを用意しています。

ITカレッジには、ITスペシャリスト科、情報学科の2学科があります。

ITスペシャリスト科は4年制学科で、システム開発系のシステム専攻とWeb専攻、ネットワークシステム系のネットワーク専攻とセキュリティ専攻があり、卒業すると「高度専門士」の称号が与えられ、大学院進学をめざすことができます。教育内容は実践型の授業を豊富にカリキュラムに組み込み、講義、実習だけではなく、徹底した専門教育を行うため、短期（1週間程度）・中期（2週間～1ヵ月間）・長期（1ヵ月～3ヵ月）の3種類のインターンシップを用意してあります。また学生がグループを作って何らかのプロジェクトを遂行するなかで総合的な能力を養うPBL（Project Based Learning）、資格取得の勉強、就職試験の試験対策、講義の聴講（自宅学習の一環）ができるeラーニングもあり、さまざまな学習方法を実現しています。

情報学科（2年制）はプログラミングコース、Webコース、ネットワークコース、セキュリティコース、パソコンコース、ビジネスコースの6つのコースがあります。コースを決めた後でも、他のコースの専門科目を履修することが出来るので、進路を考えながら、幅広い知識と技術が身につけられます。またビジネスマナーやコミュニケーション能力の養成、徹底指導による資格取得にも力を入れ、将来の夢の実現に向けて完全バックアップをします。

ITカレッジは、「自由な発想をITで実現したい」、「自分の作った製品がショップで売られているのを見たい」、「1日に何万人もの人がアクセスするWebサイトを構築したい」そんな夢を全力でサポートしていきます。



## ミュージックカレッジ副カレッジ長 遠山 一明

平成19年度より、ミュージックカレッジがスタートいたしました。蒲田・八王子両キャンパスの各芸術学部が存在した音楽系学科のみが独立した形で学科を構成しています。

### 《学科構成》

スタッフ系	コンサート・イベント科 レコーディングクリエイター科（音響芸術科を改称）
パフォーマンス系	ミュージックアーティスト科（総合ミュージック科を改称） ダンスパフォーマンス科（蒲田校のみの新設）

カレッジ制導入に伴いカレッジは、蒲田・八王子は統一した組織となり、管理体制が一元化され、教育職員の両キャンパスの人事交流も活発に行われました。

『プロを育成する高度な教育システムと環境で学生一人一人の夢の実現に向け、広く活躍できる人材を育成する』をカレッジミッションに掲げ、Be-Artist（個性とアーティスト感覚を尊重した人材育成）、Make-Future（将来設計の丁寧なサポート）Do-Best（学生第一主義に基づいた教員の最善の努力）の3項目をカレッジビジョンとして策定いたしました。

このミッションを実現するために、特に教育カリキュラムの整備と充実を図りました。

### 《教育の特色》

#### ①音楽・IT・ビジネスの共通必修科目の設置

『音楽基礎トレーニング』は理論・読譜・キーボード演奏ですが、スタッフ系の学科の学生に学ばせることによって音楽に対する深い理解力を定着させることとしました。

最先端の音楽教育環境ML（ミュージックラボラトリー）教室が完成しました。（1号館3階）このシステムは、キーボード60台と教卓をミキサーで連結され、学生一人一人の演奏をマンツーマン感覚で指導できる英語教育のLL教室の音楽版であり、音感教育にも適しています。



#### ②進路拡大へ豊富な選択科目（マルチメジャー）とグレード制

パフォーマンス系学科の学生に、ビジネス・PC・英会話・音楽スタッフ系科目（PA・照明・レコーディング・舞台）を修得させるとともに、本校伝統の資格取得も推進します。全学科の学生の授業への到達目標がわかるように、実習科目には段級審査が設置され20段階のグレードを進級する形式を採用しています。

#### ③パフォーマンス系のダンスパフォーマンス科の新設

歴史のある、スタッフ系学科（コンサート・イベント科とレコーディングクリエイター科）に加え、平成17年から総合ミュージック科（旧コンピュータミュージック科）においてプレーヤーとヴォーカリストコースが設置され、本校初の音楽パフォーマンス系学科（実技系）がスタートしました。本年度より、日本屈指のパフォーマンスアーティストSAM氏（TRF）を迎え、音楽をダンスで表現するダンスパフォーマンス科が設置されました。SAM氏のプロデュースによって、バレエレッスンを基礎とする本格的カリキュラムとダンススタジオ『GEM STONE STUDIO』が2号館4階に完成しました。



カレッジ制のスタートに伴い、音楽系学科の教育内容の刷新と充実がなされました。

変革するとともに、本校の伝統である実社会に強い人材の輩出にカレッジ教職員一同今まで以上の努力をいいていく所存です。

全国各地でご活躍の校友会会員の皆様、ならびに音楽系学科の卒業生の皆様のご指導とご支援をお願い申し上げます。

卒業生の皆様、お元気でしょうか。ITカレッジ情報学科の浅倉です。

「あれっ？」とお思いの方もいらっしゃるかと思いますが、平成19年度より「情報学部」から「ITカレッジ」になり、4年制の学科も設立いたしました。これらは、IT業界に適應する人材を育成するためです。

そして組織も変わりましたが、浅倉も所属が、入職から情報処理科→OAシステム科（OA科）→インターネット科（Webシステム科）→医療情報科→情報学科（旧：情報処理科）となり、入職25年目で始めてCD科（情報処理科と情報学科の学科記号）の担任となりました。当初はクラス担任がなく副担任だけでしたが、学科内のコース選択後にクラス担任になり、今回はどのようなクラスになり卒業式の証書伝達のときはどんな雰囲気かなと楽しみにしています。

最近お会いした卒業生の方は、最初に授業を担当したときの方、インターネット科の1期生と7期生の方が多くですね。最初に授業を担当したときの方は、毎年4月の合同企業説明会に参加いただき、求人を頂いております。求人の話をしているうちに、24年前の授業の話になります。そのときの未熟さに恥ずかしさもありますが、懐かしく楽しく感じます。1期生の卒業生も、この頃は皆さんも忙しいのでお会いする機会も減りましたが、今でも携帯メアドの変更の連絡をしてくれます。7期の卒業生は昨年まではよく土曜に遊びに来てくれましたが、就職3年目になり忙しいのだなと思っています。寂しい感じもしますが、それだけ仕事にも責任が出てきて頑張っているのだと思っています。

今年3月に卒業した医療情報科の1期卒業生には、愚痴でも楽しいことでも、3ヶ月経ったら聞くからと卒業式後の証書伝達時に話したので、今から7月が楽しみです。

それぞれの学科にはそれぞれの特徴があり、いろいろな経験をさせていただきました。その中で、共通して感じたことは「学生の『熱意と好奇心』」です。学生個々の「熱意と好奇心」から結果が出せるよう「働きかけ」を更にできるよう心がけています。

その「働きかけ」になるには、自分自身が今まで以上にいろいろなことに興味を持ち、知識を習得していこうと。それでは、今は何かとといいますと。語学です。海外ビーチ（昨年暮は3日間Boracayに行ってきたのですが、片言の英語で）でゴロゴロと、トドになるのが好きなので（笑

それでも、難しいですね、通勤時の電車内でテキスト見ながらiPodで聞いているのですが、まだ、挨拶や返事程度で…。それでも、新しいことは楽しいです。近いうちに確認しに行きたいですね。

それでは、結果は次の機会（機会あるかな？）に。

皆様の御健康をお祈りいたします。



## ○Boracay（ボラカイ）

Cebu（セブ）の西方にあり、3km以上続く、ベビーパウダーのような細かい白砂のビーチで有名です。

滞在中に見かけた日本人は二人だけ。ホテルのスタッフ達も英語かフィリピン語しか話しませんので、このような環境で過ごせば否応なく身に付くのだらうなと(^\_^;



卒業生の皆さん元気に頑張っていますか。今年入職いたしました日向と申します。昭和61年にスタートした臨床工学科（旧名は医用工学科）も、今年21年目を迎えて、約2000名以上の卒業生を社会に送り出しています。平成6年には臨床工学専攻科（夜間部）、平成16年には臨床工学専攻科一年制（昼間部）が設置され、医療や教育現場、企業などで卒業生のOB,OG皆さんが活躍している話を聞き、私達教員も誇りに

思います。

本科では3つの専門分野（呼吸・循環・代謝）ごとに、臨床経験の豊富な教員を母校に専任教員として迎え、座学や実習の土台を作っています。OBやOG達からは学科の歴史や裏話などはよく聞きます。学科長の犬塚勝哉先生を中心に、17人の専任教員と約40人の非常勤講師で国家試験合格までフルサポートしていますので、臨床工学科の卒業生の皆様から周りの方々に、臨床工学科の良さをアピールして頂けたら幸いです。

2002年頃からスタートしたProjectX100（国家試験合格率100%をめざす本科独自の資格対策プロジェクトです）を目指し教員と学生が丸となって日々頑張っています。習熟度別のクラス編成、模試のデータベース化、チューターが個人指導といった3つの対策のもとに今年も国家試験合格率98%という快挙を成し遂げまして、4年連続96%以上を達成しました。



今年からカレッジ制がスタートし、臨床工学科は医療カレッジの一学科になりました。医療カレッジ長は大石清彦副校長が兼任しています。カレッジ制のスタートに足並みを揃え、医療カレッジ専用新校舎（7階建て）が2007年3月に完成しました。今年の新入生は新校舎でのスタートになり、臨床工学科の学習拠点となる最上階のフロアには、実習室と教室が設置されています。実習室の広さは総床面積が580m<sup>2</sup>以上で、旧実習室「クリニカルエンジニアリングラボラトリー」の1.5倍もあります。臨床工学科の卒業生の皆さんも近くにお越しの際はお立ち寄りください。現場でのおもしろい話や苦労話などを聞かせてください。

# キャリアサポートセンターからの報告

キャリアサポートセンターは、就職部から名称を変えてから、様々な雇用に対し、一般求人からデビューサポートまで、学生一人ひとりの支援は元より、業界ごとの合同説明会の開催等、企業と学生の間で幅広く展開をしています。

雇用状況も大きく変化する中で、ここ数年は当校の学生に対する求人要望も高く、昨年度は当校の求人倍率が28.8倍となり、今年度はさらに勢いを増しています。

必ずしも景気が良いとは言えないでしょうが、いつの時代も資格や専門性のある若い力は、絶えることなく必要であり重要な担い手となっています。そのようなこれからの世代を築き上げていく若手を可能性ある職に結びつけることが出来るように、私たちキャリアサポートセンター職員は日々努力しています。

OB・OGの皆様には、そんな後輩の道を開いていただき感謝しております。

今後とも校友会OB・OGの皆様の更なる学生へのご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 平成19年度 キャリアサポートセンター行事日程表（一部掲載）

項	開催予定日	期間	行事名	参加予定	場 所
1	平成19年3月27日(火)	1日間	IT・情報系 企業合同説明会	40社 実施済み	本校4F 体育館
2	平成19年3月28日(水)	1日間	インターンシップ対象等 合同企業説明会 (卒業期対象)	39社 実施済み	本校4F 体育館
3	平成19年4月25日(水) ～ 平成19年4月27日(金)	3日間	春季合同企業説明会 (卒業期対象)	404社 実施済み	PIO 産業プラザ
4	平成19年8月28日(火)	1日間	医療機関合同就職説明会 (OT卒業期対象) 予定	20病院	本校 12号館
5	平成19年10月16日(火)	1日間	秋季合同企業説明会 (卒業期対象) 予定	45社	本校4F 体育館
6	平成19年11月13日(火)	1日間	音楽業界合同説明会 (1年生対象) 予定	20社	未定
7	平成19年11月15日(木)	1日間	医療機関合同就職説明会 (XK・PT卒業期対象) 予定	45病院	本校4F 体育館
8	平成19年11月28日(水)	1日間	声優・俳優科 プロダクション合同説明会 (2年生対象) 予定	35社	本校4F 体育館
9	平成20年1月11日(金)	1日間	就職模擬試験 (1年生対象)	—	各教室
10	平成20年1月17日(木)	1日間	マンガ・アニメ 合同企業説明会 (卒業期対象) 予定	20社	8号館1F カフェテリア



新人紹介 山口和代さん



# 平成19年度3月 教職員退職者報告

永年ご指導くださいました次の先生方が、定年または一身上のご都合により退職されましたのでお知らせいたします。

氏名	所属等(退職時)	在職年数
赤羽 進	大学事務局 研究協力部 研究所設備等運用室	38年
芝野 康也	八王子校 放送芸術科	38年
劔持 晃	大学事務局 技術課	33年
川口 爽子	蒲田校 工学部付	19年
北嶋 茂樹	大学事務局 技術課	15年
熊川 清孝	キャリアサポートセンター (八王子校・蒲田校)	13年
植村 ありさ	蒲田校 コンピュータグラフィックス科	4年
本多 真一郎	蒲田校 コンサート・イベント科	4年
佐野 勝正	蒲田校 バイオニクス科	1年

## 赤羽 進

八王子に移ったため私の知る一番若い会員の方でも仕事盛りの40歳。健康と益々のご発展を！



## 芝野 康也

今までの出会いを大切にし、校友会でお世話になった方々に対し紙面を借りてお礼申し上げます。



## 劔持 晃

3月末で定年退職し、毎日が「環境創造」の実践と研究です。皆さんも頑張ってください。

## 川口 爽子

学習支援センターにおります。皆様の御健康と御活躍をお祈りいたします。



## 本多 真一郎

私は中国上海にいます。係わった全ての卒業生にエールを送ります。お互いがんばりましょう。



# 平成18年度 卒業式

来賓 株式会社ゴンゾ  
本校校友会会長

取締役  
セントラル電子制御株式会社  
代表取締役社長

村濱 章司 様  
桂田 忠明 様

## 次の世代に繋がる基礎を作って欲しい

平成19年3月17日土曜日小雪舞い散る中、桜木町パシフィコ横浜 国立大ホールにて平成18年度日本工学院専門学校卒業式が盛大に挙行されました。定刻には会場いっぱいに学生、保護者の方々が集まりました。

オープニングで片柳学園60年の歴史を映像化したビデオが流れると、会場からはどよめきの声が上がりました。

司会の只埜先生より開式の言葉があり、緊張した雰囲気の中で式は始まりました。

はじめに挨拶をされた片柳 鴻理事長は、「これまでの先達が積み重ねてきた実績があってこそ現在の繁栄がある。卒業生の皆さんも努力して次の世代に繋がる基礎を作って欲しい、汗を流してコツコツと努力を重ねることによって繁栄を築いて欲しい」と述べられました。

続いて千葉茂学校長の挨拶がありました。

学校長は、「夢を持ち続けることが大切である」と述べられ、「人はいろいろな体験を積み、見聞を広めることによって初めて新しいもの（発想）を生み出すことができる。卒業生の皆さんもこれからは是非多くの経験を経て、新しい発想をもって仕事をして欲しい」と、孔子のことは引用し述べられていました。



その後、証書授与式に移り、はじめに各学部を代表して「卒業生総代の証書授与」「優等生総代の証書授与」が行われました。総代、優等生の名前が司会者から次々に読み上げられると該当者が立ち上がり、それとともに会場のあちこちから歓声がわきあがっていました。そのあと学校長特別賞として臨床工学技士の模擬試験で全国一位、デジタルミュージックコンテスト最優秀賞受賞、バレーボール部女子選抜大会で二年連続全国優勝に輝いた学生達に学校長より賞状と記念品が授与されました。どの学生も緊張しつつ、神妙な面持ちで壇上に立ちましたが、学校長から賞状を渡され、励ましの言葉を受けた時には、皆晴れやかな笑顔がこぼれていました。

来賓としてご祝辞をいただいた株式会社ゴンゾ取締役の村濱章司様はご自身が歩まれた軌跡を語られ、与えられたチャンスをもものにする決断力、自己のアイデンティティーとプライドを持つこと、自分のひらめきを大切にすること、これからの世界を予測する力が必要だと述べられていました。その銜のないお言葉に学生達は共感していたようでした。

卒業生を代表して本校校友会会長セントラル電子制御株式会社社長桂田忠明様からは、「本校の卒業生には立派な方々が数多くおられるので、安心して社会に出て、学校で培った成果を十分に発揮して欲しい。困ったときには全国にいる先輩を頼って欲しい」とのお言葉をいただきました。

小雪舞い散る曇り空で始まった卒業式ですが、式を終える頃には卒業生を祝するかのようには空は眩しく晴れ渡っていました。その後、卒業生は学校に戻り、ホールルームで担任の先生から卒業証書を受け取っていました。

卒業生の皆さんおめでとうございます。

皆さんのこれからのご活躍を心から祈っております。

そして、片柳学園卒業生18万人、日本工学院専門学校の校友会を支える卒業生13万人のうちの1人として、自信と自覚を持って良き社会人になっていただきたいと思っております。

## 時間をどれだけ有効に使うかが大切なのです

平成19年4月10日（火）日本武道館において入学式が挙行されました。

今年、片柳学園は創立60周年を迎えます。また、総合専門学校としての特性を保ちつつ、分野ごとの専門性を高めるためにカレッジ制（クリエイターズカレッジ、ミュージックカレッジ、テクノロジーカレッジ、ITカレッジ、医療カレッジ）が導入されるにあたり、教職員一同新たな気持ちで式に臨みました。

片柳鴻理事長は終戦直後の昭和22年本校創設時の蒲田の様子を語られ、「最初から大きなことを試みようとしても無理が生じる、小さなことから初めて大きくすることが大切」「地道に努力することが大切」と述べられています。

千葉茂学校長は本学園18万に及ぶ卒業生の活躍に触れ、皆さんの卒業生は多くの物語を作りましたと述べられました。本校は「学生第一主義」を掲げており、入学された皆さんにとって、最高の教育を行うために、最高の実習環境を用意している。しかし、受身になることなく、能動的に学んでほしいと結んでおられました。

来賓としてご祝辞をいただいた数学者で大道芸人のピーターフランクルさんは、皆さんにとって必要なのは「21世紀を見据えた行動」です。そのためには単なる学歴だけでなく、専門性を高める必要がある。日本は他国の下働きではなく、一流の日本人としての自覚を持って行動してほしい。入学後の修学期間を人生の勝負の時間と考えて行動してほしい。格差社会といわれる中で、誰にでも時間は平等に与えられている。この時間をどれだけ有効に使うかが大切なのです。と、ご自身の経験をふまえて熱心に語られていました。

ついでご祝辞をいただいた本校顧問神谷明先生は次のように述べられていました。どんなに立派な設備や講師の先生がいてもそれを活用するのは皆さん自身です。皆さんの努力が自らの能力を引き出すのです。自分のやろうとしていることが好きでならなくてはならない。好きなことならば人が苦しいと思っても苦しくならずに打ち込めることができる。「飽きず」「あせらず」「諦めず」の精神でこれからの学生生活を乗り切ってください。

途中、先生が開発したリズム発声の基礎練習を行いました。はじめ、びっくりした会場の新生生たちが次第に一声に声をあげて「ほっかいどう」「でっかいどう」などと唱和していたことが非常に印象的でした。

最後にマンガ・アニメーション科の在校生が新入生歓迎の辞を述べ、閉式となりました。さあ、新入生の皆さん、自らの将来と希望に向かってしっかり学んでください。



## 第41回 かまた祭

### テーマは『LINK』

メインテーマは『LINK (リンク)』!! クラスや学科の繋がりは勿論のこと、学科の枠を越えた繋がり、教員との繋がり、蒲田の街との繋がり、そして、「かまた祭」に参加して頂いた全ての人々との繋がりや絆を大切にしたいとの気持ちでメインテーマが決定し、11月3日～5日に第41回「かまた祭」は実施されました。恒例のクリーンキャンペーンでは、大田区のご協力を得まして、学内だけではなく、学校・駅周辺、近隣の清掃も実施。さらには蒲田の街を神輿行列で練り歩く、新たな企画を実施しました。まさに蒲田の街と「かまた祭」の繋がりを感じる企画でした。また、各種ステージイベントやメガネNo.1コンテストも開催し、グランプリを決定するなど盛り上がりました。天候にも恵まれ、多くの来場者を迎えて大盛況のうちに幕を閉じることができました。今年度の「かまた祭」は、11月2日～4日です。是非、お越し下さい。学生、教職員一同お待ちしております。



## 第38回 体育祭

### テーマは『猪突猛進』

今年の体育祭は工学院史上初の体育館での実施となりました。天気への不安が無い代わりに、東京体育館という大きな会場をどのように運営していくか、常に悩みや不安はつきませんでした。

会場内ではクラス対抗のメイン種目の他にも、当日参加できるような種目を多数用意し、多くの学生が楽しめるように工夫しました。また、毎年恒例の「コスプレ走」にも予想以上に参加者が集まり、多くのアニメキャラクターでにぎやかに盛り上がりました。なによりも観客席から今行われている競技が全て見渡せる、というコンパクトさが盛り上がり拍車をかけていたようです。なにもかもが初の試みでしたが、学生たちの笑顔や真剣に競技に向かう様子こそ、体育祭は学校行事として必要なイベントであることを意味していたのではないのでしょうか。また、学生実行委員たちの一枚岩のような組織力と運営に向けてのひたむきな熱意。授業では絶対に学べない事を彼らは学んだ事でしょう。文字通り、多くの学生がそれぞれに「猪突猛進」した体育祭でした!



# 校舎の変遷

昭和22年(1947年)5月、理事長 片柳 鴻により、大田区女塚3丁目(現在西蒲田5-31)に絵画、洋裁教育を目的に創設された「創美学園」。以来60年間の歴史を誇る校舎の変遷をたどりました。

昭和22年



創立時の校舎

昭和24年



増築校舎が完成

昭和28年



木造校舎が完成

昭和30年



増築した木造モルタル2階建て校舎

昭和33年



1号館が完成

昭和40年



2号館が完成

昭和44年



3号館が完成

昭和45年



5号館が完成

昭和47年



6号館(現在の5号館)が完成

昭和54年



7号館が完成

昭和55年



6号館(旧5号館)が完成

平成13年



8号館が完成

平成17年



アニメ・デザイン館(6号館を増築)が完成



平成19年8月現在

# ▶ 蒲田校 学科の変遷

実践的なカリキュラムで学べば、あなたの未来は無限大。

## あらゆる業界をカバーする多彩な学科群。

昭和22年 昭和28年 昭和32年 昭和36年 昭和40年 昭和44年 昭和48年 昭和52年 昭和56年 昭和60年 昭和62年 平成元年 平成3年 平成5年



### テクノロジーカレッジ

ロボットエンジニア、バイオテクノロジー研究者、自動車整備士、建築家など、ものづくりのプロになりたい人に。

- ◆ **電子・電気・CAD科**  
電子工学専攻/電気工学専攻/電気工事士専攻/機械設計・CAD専攻
- ◆ **バイオテクノロジー科**  
医薬バイオ専攻/化粧品バイオ専攻/食品バイオ専攻/環境バイオ専攻
- ◆ **テクノロジー研究科 (1年制)**  
ものづくり専攻/資格取得専攻/バイオテクノロジー専攻
- ◆ **建築設計科**  
建築設計・デザイン専攻/建築CAD・製図専攻/建築構造専攻/建築設備専攻/建築施工専攻/土木施工専攻
- ◆ **インテリアデザイン科**  
インテリアデザイナー専攻/インテリアコーディネーター専攻/ショップデザイナー専攻/フラワー・ガーデンデザイナー 専攻
- ◆ **プロダクトデザイン科**  
プロダクトデザイナー専攻/カーデザイナー専攻/家具デザイナー専攻/雑貨デザイナー専攻

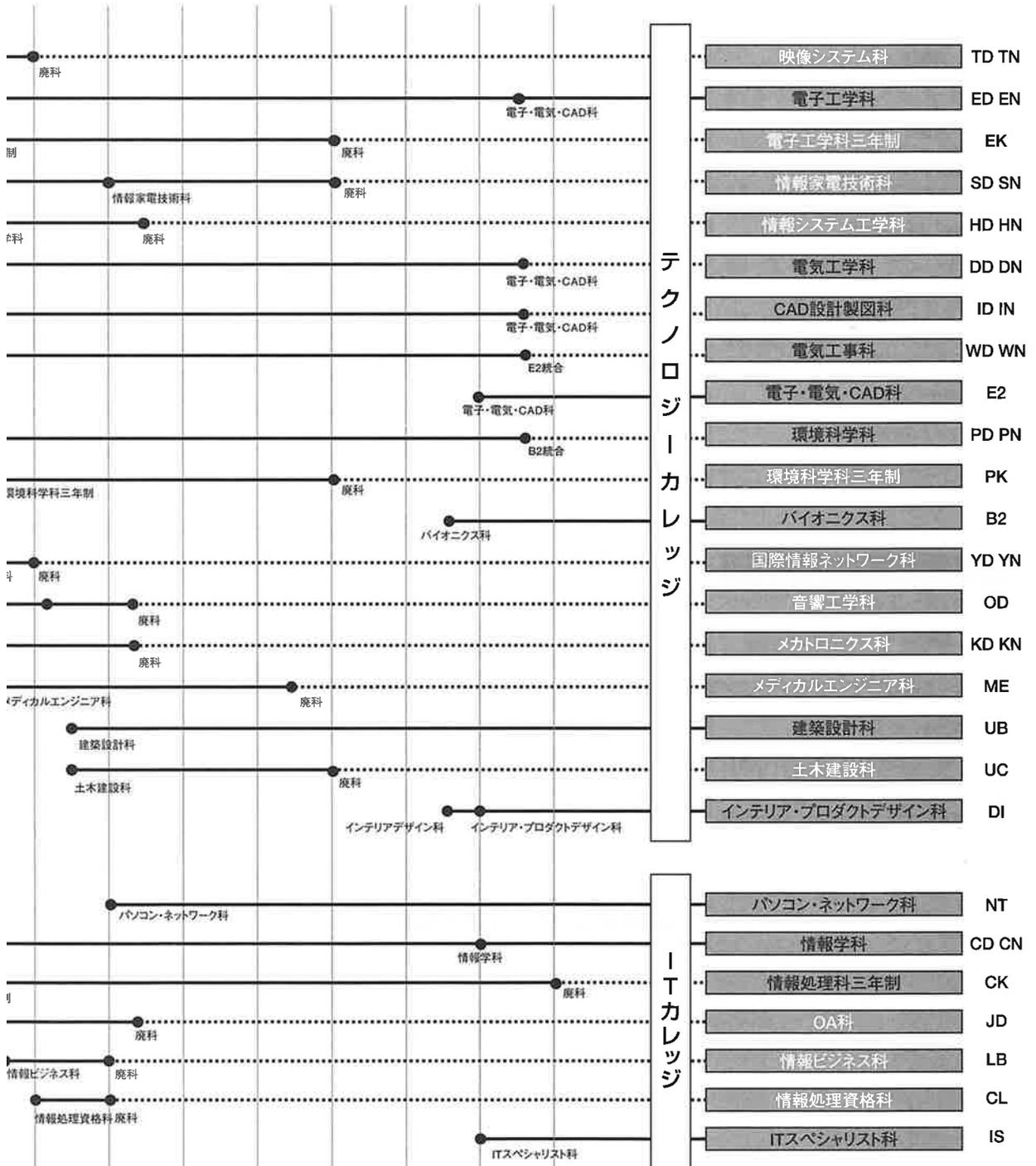
### ITカレッジ

システムエンジニア、ネットワークエンジニア、プログラマーなどコンピュータ、ビジネスの世界のキエスパートをめざす人に。

- ◆ **ITスペシャリスト科 (4年制) 高度専門士対象**  
システム専攻/組込みシステム専攻/Web専攻/ネットワーク専攻/セキュリティ専攻
- ◆ **情報学科**  
ソフトウェアコース/Webコース/情報コース
- ◆ **パソコン・ネットワーク科**  
パソコン・ネットワークコース/ネットワーク・セキュリティコース
- ◆ **情報ビジネス科**

日本工学院には、それぞれに高い専門性を備えた6つのカレッジのもと、個々の分野で真に社会で求められているプロを養成するための多彩な学科がある。学問のための学問ではなく、職業人として必要な教養とスキルを磨くために練り上げられた実践的なカリキュラム。それらは、日本工学院という1つのキャンパスに集うことでまったく新しいコラボレーションを生む可能性をも秘めている。

平成7年 平成9年 平成11年 平成13年 平成15年 平成17年 平成19年 平成21年



### クリエイターズカレッジ

ゲームやアニメ、CG、Web制作者、テレビや映画で活躍するディレクターや声優・俳優、デザイナーなどをめざしたい人に。

- ◆ 放送・映画科  
カメラマンコース/照明スタッフコース/映像編集コース/サウンドスタッフコース/美術コース/制作コース
- ◆ 声優・俳優科  
声優・俳優コース/舞台スタッフコース
- ◆ マンガ・アニメーション科  
アニメーションコース/マンガコース/キャラクターデザインコース
- ◆ ゲームクリエイター科  
ゲームプログラミングコース/ゲームプランニングコース/ゲームCGコース/ゲーム音楽コース
- ◆ コンピュータグラフィックス科  
CGコース/VFX（映像効果）コース
- ◆ クリエイティブラボラトリー（4年制）高度専門士対象  
高度アニメーションコース/高度ゲームコース/高度CGコース
- ◆ Webデザイン科  
Webデザインコース/モバイルコンテンツコース
- ◆ グラフィックデザイン科  
グラフィックデザインコース/エディトリアルデザインコース/イラストレーションコース/絵本コース

### ミュージックカレッジ

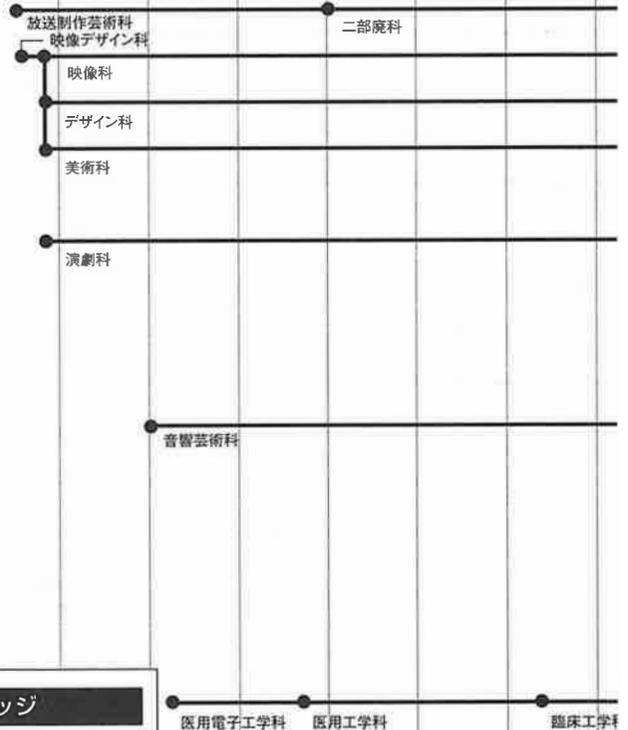
ヴォーカリスト、ミュージシャン、コンサートスタッフ、レコーディングエンジニア、ダンサーなど、音楽の世界でプロになりたい人に。

- ◆ ミュージックアーティスト科  
プレイヤーコース/ヴォーカリストコース/作曲・編曲コース
- ◆ コンサート・イベント科  
コンサート制作コース/コンサートPAコース/コンサート照明コース/コンサート舞台監督コース
- ◆ レコーディングクリエイター科  
レコーディングエンジニア専攻/MAエンジニア専攻/ラジオミキサー専攻/Pro Toolsエキスパート専攻
- ◆ ダンスパフォーマンス科  
プロダンサー専攻/ダンス&ヴォーカル専攻/ダンスアクター専攻/ダンスインストラクター専攻

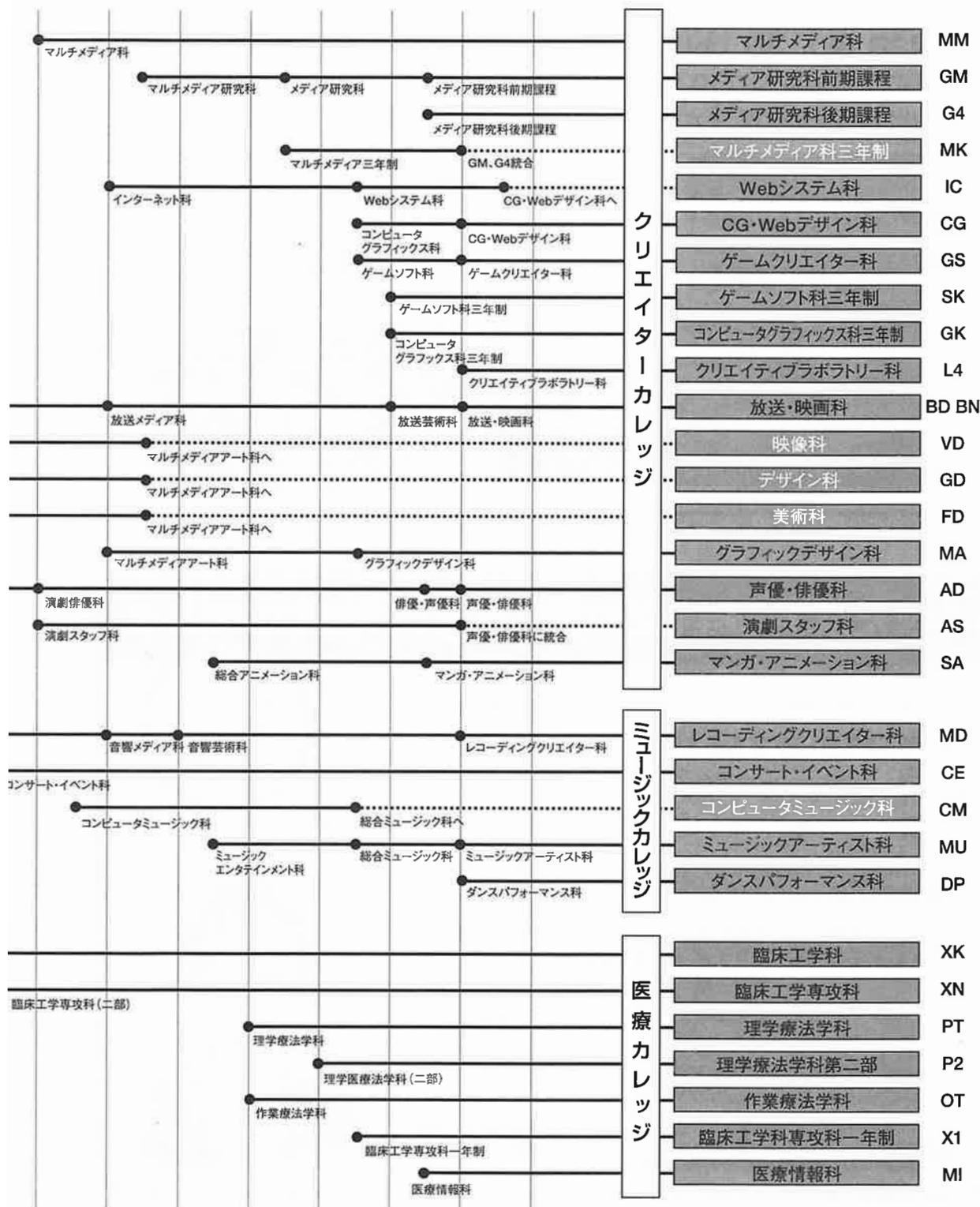
### 医療カレッジ

理学療法士、作業療法士、臨床工学技士、鍼灸師、柔道整復師など、医療分野のスペシャリストをめざしたい人に。

- ◆ 理学療法学科（4年制）高度専門士対策
- ◆ 作業療法学科（4年制）高度専門士対策
- ◆ 臨床工学科（3年制）
- ◆ 臨床工学専攻科 第2部（夜間）
- ◆ 臨床工学専攻科一年制
- ◆ 医療秘書・事務科  
医療秘書コース/医療事務コース



平成7年 平成9年 平成11年 平成13年 平成15年 平成17年 平成19年 平成21年



## 平成19年度 かまた祭のお知らせ

平成19年度第42回かまた祭は、「今しかできない事がある！！」をテーマに11月2日（金）、3日（土）、4日（日）の3日間で行われます。斬新なアイデアと企画で、昨年以上に盛り上げようとスタッフ一同大いに張り切っています。是非、後輩の活躍をご覧下さい。多くの方々のご来場をお待ちしております。



## かまた祭 片柳学園60周年記念講演会のお知らせ

日 時：平成19年11月3日（土） 15:10～16:30

場 所：3号館1階「マルチメディアホール(3112教室)」

講演者：軽部征夫 東京工科大学副学長

内 容：「120歳まで若さを保つ方法」ー生物の子カラをどう活用するかー

校友会  
首都圏支部  
主催

### 軽部征夫 副学長プロフィール

【略歴】 昭和47年 東京工業大学大学院 理工学研究科博士課程修了

昭和63年 東京大学 先端科学技術研究センター教授

平成11年 東京大学 国際産学共同研究センター長

平成15年 東京工科大学 バイオニクス学部長

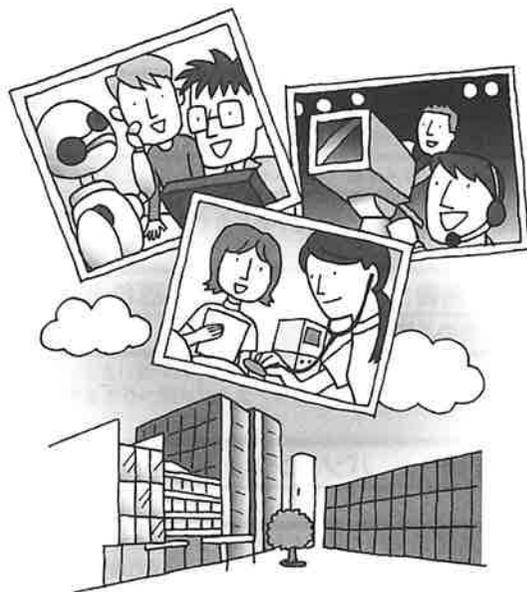
平成17年 同上 副学長

【専門】 バイオニクス、バイオエレクトロニクス



奮ってご参加ください!!

全国から、海外から。この1年間に、校友会事務局に届いた会員の皆さんの近況を大公開。思わぬ名前を見つけて、懐かしい顔や声が思い浮かんだり、その元気そうな様子にほっと胸をなでおろしたり…。このコーナーが、そんな温かい出会いや思いを多くの皆さんにお届けできたら幸いです。なお、誌面の都合で掲載できなかったお便りもありましたことをおわびいたします。



氏名(旧姓) 学科/期 勤務先 住所(都道府県)の順で表示しています。

## 工学・情報系

**根井 隆一** 環境工学科 第13期生  
群馬県立勢多農林高等学校 群馬県

環境工学科の2部を卒業して23年になります。現在は学んだ知識・技術が直接生かせる職でなく、農業高校の公仕(用務員)として働いているのですが、学校から出るゴミを見ていると、現代人の環境問題に対する認識の甘さを感じます。話は変わりますが、4年制の専門学校(高度専門士)の卒業生は、直接大学院へ進学出来るようになったとの事ですし、今後、専門学校へ進学する若者は増えるでしょう。日本工学院の未来は明るく、卒業して良かったです。

**古川 聡** 環境工学科 第13期生  
島根県

昨年結婚し今年の始め怪我で入院し5月に子供が出来ました。

**石橋 栄** 公害工学科 第6期生  
島根県

年をとってもなつかしいです。工学院時代は青春でした。卓球部の後輩達もがんばっているようですね。支部総会に出席できず残念ですが皆様のご健勝をおのりします。

**米山 覚** 公害工学科 第9期生  
徳島県

卒業した科とはまったくちがう地方銀行員としてずっと働いています。でも勉強したことは企業の公害防止の設備投資の相談などりっぱに役立っています。

**井上 精市** 公害工学科 第2期生  
平成理研(株) 栃木県

環境公害の調査・分析の仕事について31年が過ぎ大ベテランの域になって来ました。まだまだガンバリたいと思っています。

**小向 栄毅** 情報処理科 第31期生  
ネオテック ソフトウェア 栃木県

寮の仲間とは、同窓会をしていましたが、それもとどこおっています。今日この頃、みなさん、良い感じのオッサンになっていますか？

**小野寺 徹** 情報処理科 第18期生  
エクセルハウジング(有) 岩手県

脱サラいたしまして現在、不動産、建築関係の会社を5年ほど前から経営しています。やっと会社も軌道にのりレストランも開業いたしました。地元の人に役に立てる会社をめざしてがんばっています。

**吉岡 貴文** 情報処理科 第25期生  
宮崎県

京浜寮の皆さん、元気してますか。早いもので45歳。何とか、事務機を扱う仕事してます。結婚遅かったもので子供も4歳。頭が退化しそうですが、子供と遊んで若さをキープしてます。

**西部(重慶) 美穂** **情報処理科 第26期生**  
**山梨県**

現在、大月市立大月短大付属高校内の食堂で働いています。毎日、高校生のパワーに圧倒されながら、慌ただしく過ごしています。

**中根 康** **情報処理科 第25期生**  
**ソニー生命保険株式会社 郡山支社** **福島県**

13年間勤務したメカ系コンピューター販売会社を退職し現在の保険会社に転職して13年目に入りました。  
蒲田の地で学んだ事が懐かしい思い出です。

**山田 浩義** **情報処理科 第25期生**  
**池松きのこ園** **福岡県**

現在アルバイトで日によって1日の労働時間が違います。仕事柄フロに入らなければならないので、よくフロ屋へ行きます。

**三輪 陽一** **パソコンネットワーク科 第5期生**  
**宮崎県**

現在、無職で、様々な仕事をした後、H18.6.12に、高校時代に痛めた左肩を手術し、現在は、社会復帰と、就職活動目指しながら、来年、自衛隊を受ける予定です。

**清水 順一郎** **ソフトウェア科 第6期生**  
**音羽電機工業(株)** **兵庫県**

雷被害から、電気、電子機器を守るユニット盤の設計・管理に携わっています。老親のうち、父親は6月に亡くなり、母親は年相応の元気で、平安な日々を過ごす頃です。己の体調も相談しながらの団塊の世代。60代も現役でと考える此の頃です

**石塚 修** **ソフトウェア科 第14期生**  
**栃木県**

コンピューターとの戦いを止め、人間と戦う仕事をしています。地位と名誉を一度捨てたので会員の集いには行きにくいものがある。自信が持てたら参加していきたい。

**竹下 巖** **放送技術科 第5期生**  
**信濃建物総合管理(株)** **佐賀県**

卒業後赤井電機入社、39年退社。即佐世保日本無線入社、45年退社。即聖教新聞入社、H12退社。H18.4月信濃建物総合管理(株)入社—現在に至る。今の会社に勤務しながら、東洋医学の業界免許を持っているので20年前から健康セミナーをボランティアでやっています。

**長田 静雄** **放送技術科 第9期生**  
**大月市立大月短期大学** **山梨県**

停年退職して早や4年目が過ぎようとしています。大月市立の学校関係の仕事です。工学院専門学校の事など進路担当の先生にアピールしている最近です。

**井上 清一** **放送技術科 第8期生**  
**愛媛県**

会社を定年となり5年経過しようとしています。田舎で小さな船で釣りをそして野菜も少し、人生を楽しんでいます。校友会のご盛会をお祈りします。

**菊地 千城** **放送技術科 第4期生**  
**宮崎県**

ネンリンピック テニスの部で宮崎県代表として全国大会に参加します。

**太田 広則** **TV放送技術科 第29期生**  
**熊本県**

27才でUターン帰省後、地元の電子部品製造の会社に入社。入社20年、工場長職をしておりましたが、昨年9月、縁あって、八代市議会議員と成らせて頂きました。物作りの視点から安心、安全な街作りへ日夜奮闘しております。

**佐藤 泰** **電子工学科 第18期生**  
**共栄ビル管理株式会社** **福岡県**

この道45年、お陰様でいつも「チャレンジ」する…いや、基礎の厚みを加えていただいたと、感謝しながら現役で「総合ビルメンテナンス会社」の請負業務で、保守管理業務をやらせていただいております。

**奥野 徹** **電子工学研究科 第11期生**  
**サムスン 東雲サービスセンター** **神奈川県**

まだ群馬に住居があるのですが、実家の川崎で父が一人暮らしとなってしまったため現在は父と二人暮らしで仕事を東雲のサムスンに勤務しております。またボランティアでニューヨーク在住のジャズボーカリスト(天野昇子)とジャズを中心とした音楽で福祉施設でのライブを行ない、障害をもたれた方への支援をしております。

**滝 昌司** **家電電子技術科 第36期生**  
**(有)タキデンキ** **岐阜県**

家族も増え、嫁、子供2人と忙しい毎日を送っています。家電関係の仕事をしてますが、TV放送のデジタル化にともないこちらのほうも忙しい毎日です。同級の仲間、バスケ部の仲間、元気ですでしょうか。

**山野 登美男** **電気工学科 第9期生**  
**山登電工** **長崎県**

電気工事を個人でやっていますが、年々仕事が少なくなっている状況です。

**大原 宗義** **サービス技術科 第23期生**  
**大原かまぼこ店** **高知県**

卒業後、家業を後継します。同期の宮本静男くん杉本克彦くんが近くなので、月に1度は会います。2人共元気でやっています。私ものんとかやっています。頭がさびしくなってきました。

**伊東 規之** 電子工学研究科 第1期生  
兵庫県

念願の著書『増幅回路と負帰還増幅』を東京電機大学出版局から発刊できました。本書は多くの市販の書籍のNFB理論を根底から改革するつもりで執筆しました。是非読んで下さい。

**濱田(越生) 亨** 電子工学科 第43期生  
(株)A&M 鳥取県

2003.12.31ナショナルマイクロモータの会社清算によって現在の会社に入社しましたが現状は厳しく、子供の成長にもなかって経済的にも賃金のベースアップは見込めないでゆとりがなくなっています。何かやりがいのある仕事があればと思いますが…。

**宮下 勉** 電子工学科 第44期生  
東芝メディカルシステムズ(株) 松江サービスセンタ 島根県

本校卒業後東京にて東芝メディカル東京サービス(株)に入社し、2年前に出身地の同社(現在は東京メディカルシステムズ(株))の松江支店に転勤。現在はきれいな空気と景色の中で働いています。

**上屋敷 光男** 電子工学科 第36期生  
北上ビルメン(株) 宮古営業所 岩手県

卒業してから30年、長い人生のたった2年間でしたが非常に充実した学生生活だった事を懐かしく思い出します。今回は仕事の都合で出席出来ませんが、支部会員の集いにも是非出席したいと思えます。

**遊佐 正人** 電子工学科 第17期生  
(財)東北電気保安協会 宮城県

学校を卒業して27年にもなりますが、私にとっては短く重要な2年間でもあり現在の電気系の職に付いていると思う事があります。同級生の皆様もお元気ですか。

**黄木 文夫** 電子工学科 第34期生  
群馬県

放送制作研究部の皆様お元気ですか。今度、かまた祭に行ってみたいです。私の居た頃とは、ずいぶんと異なっていますかね。

**星 伸二** 電子工学科 第32期生  
(有)和光技工工業 福島県

おかげさまで元気ががんばっております。いつも校友会を送っていただき、ありがとうございます。日本工学院の卒業生として誇りをもって邁進していきたいと思えます。

**畠山 篤朗** 電子工学科 第38期生  
宮城県

卒業して1年後、故郷の町役場に就職し現在に至ってます。エレクトロニクスとは全然関係のない仕事なので、それぞれの専門分野で御活躍の同窓生の皆様方が羨ましく思える事が良くあります。

**林 昭雄** 電子計算機ソフトウェア科 第12期生  
アルプス電気(株) 福島県

今年で53才になりました。プログラムは作成していませんが、まだシステム設計、開発、導入に携わっています。日本工学院専門学校で学んだ事をベースに33年間コンピュータの関連の仕事です。

**及川(高橋) 智恵子** 電子計算機ソフトウェア科 第13期生  
岩手県

お世話様です。今は畑違いのヘルパーの仕事をしています。色々な方と出会い社会勉強をさせて頂いています。50才すぎの仕事ですが、やりがいのある仕事です。

**竹之内 正行** テレビ専門科 第19期生  
(株)たけのうち電器 群馬県

暫く資格取得から遠のいていましたが、50才位から電気工事施工管理1級→デジタル1種→電気通信主任技術者(1伝交)55才になった今年、陸上無線技術士(1陸技)を取得しました。年配者でもやれば出来ることを社員に証明しました。当社ホームページ <http://www.takeden.com> [www.kannet.ne.jp](http://www.kannet.ne.jp)

**高橋 昭一** 電気工学科 第3期生  
有限会社高橋電設 岩手県

○開業して12年になりますが、労務単価が下がり、資材が上がり頭をかかえる日々が続いています。  
○我が家の子供達と始めた少林寺拳法も長男(高一)、長女(中二)、私と初段に次男(小五)2級となり、にぎやかに日々を送ってます。

**針生 真樹** 有線通信科 第3期生  
栃木県

4年前に独立、通信関係の工事(交換機工事、LAN工事)をしています。

**佐下橋 菜緒** 建築設備科 第6期生  
佐下橋設計室 群馬県

一昨年二級建築士の免許を取得し、自営の事務所で勤務しながら、一級取得に向け勉強中です。

**太田 正昭** サービス技術科 第26期生  
有限会社太田電機 長崎県

只今、長男が八王子の方でお世話になっています。早いもので卒業して27年 町のでんきやとして頑張っております。

**中原 寿美絵** 音響芸術科 第16期生  
愛知県

仕事が忙しすぎ、休みも取れない状態です。

# 芸術系

**永見 俊行** 美術科 第3期生  
島根県

クンブーです。晴天の日は農業に汗を流し、雨の日は絵を描き、粘土でオブジェを制作したりしています。今年も、おいしいコシヒカリの新米がとれますように！

**Naomi(清水) Green** 演劇科 第6期生  
栃木県

今年も又7月福島先生始め生徒さん達のイングランド公演(演劇科)と共にすごし日本への帰国を見送ったあと、ファミリーで来日しました。那須高原の実家での夏休みを楽しみ今は帰国しています。in United Kingdom

**八巻 孝志** 放送制作芸術科 第5期生  
(株)東洋新虹 福島支所 福島県

キネマの天地蒲田で過ごした2年間は、勉強になりました。現在、東レフィルム加工の仕事をしております。昭和61年に結婚致し、大学2年長男と高3年の長女2人の子供に恵まれました。日本工学院の益々の御発展お祈り申し上げます。

**井上 ユリコ(ゆき子)** 放送制作芸術科 第3期生  
家事・介護ステーション高畑 福岡県

つい最近ミュージシャンたちとの出逢いがあり、イベントのお手伝いをしてやっぱり私はイベントの裏方の仕事がやりたかったんだなあと20数年前の懐かしい過去が蘇ってきました。12月9日福岡の元ブルーノートで70年代ポップスのライブがありました。私もお手伝いしました。大盛況でした。  
<http://www.kazuma-hishimura.com/>

**金丸(松井) 洋子** 放送制作芸術科 第3期生  
宮崎県

現在大学4年生の息子は、来年4月から工学院に入学する事を決めました。もっと専門的な事を学びたいそうです。何か不思議な縁を感じます。有意義で楽しい学生生活を送れるはずと信じています。息子をよろしく！育てて下さい。

**向井 真澄** 放送制作芸術科 第2期生  
(有)アライブ 愛媛県

ENGカメラマンとしてまだまだ現役で頑張ってます。主として地元放送局で報道制作の仕事を受けてやっています。自営です。

**四本木 宣昭** 放送制作芸術科 第6期生  
福井県

43年前多摩川寮にて舎監に寒い時全員がよく呼び出された事を今も思い出します。「1人の事でも連帯責任となり、他人の事を考えるよう教えられた事です」今思えば良い事であったと思います。

**齋藤 裕樹** 放送制作芸術科 第9期生  
有限会社マール 福井県

PA会社を立ち上げて8年経ちました。現場と並行してPAスピーカーの開発と制作もおこなっています。今までにない最高品質の音を出すために、日夜はげんでいます。弊社HPをご覧ください。  
<http://www.mrs-sp.com>

**川上 泰生** 放送創作芸術科 第6期生  
西日本映像(株) 熊本支社 制作部 熊本県

日々、仕事と子育てを楽しくやっています。先日、家族で大森のホテルに一泊しました。(ディズニーランド行)蒲田にも連れて行きたかったのですが、時間がなく残念でした。しかし、この夜工学院卒の後輩とうまいお酒を飲めたのは幸せでした。

心からご冥福をお祈り申し上げます。

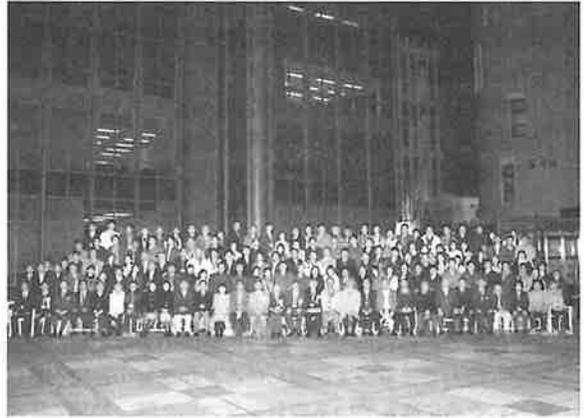
## 校友会会員の次の方々の訃報が届きました。

青柳 吉幸さん 昭和57年 放送制作芸術科 6期卒業 平成17年11月没	本家 憲一さん 昭和60年 情報処理科 30期卒業 平成18年4月没
田中 正浩さん 昭和58年 放送制作芸術科 7期卒業 平成17年11月没	実松 達視さん 昭和39年 放送技術部研究科 1期卒業 平成18年12月没
大童 智徳さん 昭和59年 放送制作芸術科 8期卒業 平成13年5月没	佃 文寿さん 平成16年 マルチメディアアート科 6期卒業 平成18年没
松井 正子さん 昭和60年 放送制作芸術科 9期卒業 平成16年4月没	沖 浩さん 昭和63年 音響芸術科 6期卒業 平成18年没
渡辺 豊彦さん 昭和47年 ソフトウェア科 8期卒業 平成17年3月没	松井 光彰さん 昭和52年 サービス技術科 21期卒業 平成18年4月没
長岡 幸一さん 昭和55年 情報処理科 23期卒業 平成18年9月没	松井 徹さん 昭和38年 テレビ専門部 1期卒業 平成18年9月没
杉山 学さん 昭和58年 情報処理科 26期卒業 平成17年11月没	中川 尚治さん 昭和42年 放送技術部 16期卒業 平成19年5月没

## 公害工学科・環境工学科・環境科学科・公害工学研究科・環境科学科三年制 「卒業生の集い」報告

平成18年12月2日(土)3号館マルチメディアホールにて標記「卒業生の集い」が開催されました。当日は第1期生から今年卒業した33期生まで160名を超える卒業生、恩師の方々にお集りいただきました。現役生である34期生にもいろいろお手伝いいただきました。

「卒業生の集い」は総会と懇親会の2部構成で行われました。第1部は金田彰二先生(1期卒)が司会を務め、第1期生卒業生の粕川博康様に開会の辞を述べていただき始まりました。次いで、大石清彦副校長、第1期の1時限目から授業を担当された高橋賢治先生の挨拶と続き、学科の変遷、校友会との関わりなどの説明がありました。参加者は皆、熱心に耳を傾けていました。



## テレビ放送技術科26期 有志による親睦会の報告

26期テレビ放送技術科卒業生のみなさん、お元気ですか？ 私達有志の面々は、昨年北海道への旅行を実現させ、観光・ゴルフ・旧友との再会と、2泊3日(平成18年9月16日～18日)の短い時間でしたが楽しい時を過ごしました。

そして悲しい出来事もありました。その中の一人が旅行の約二週間後、帰らぬ人となってしまった事です。とても悲しく戸惑いましたが、今はこの旅行で彼がいろいろと世話をしてくれたこと、一緒に過ごした楽しい時間、そしてやさしい笑顔が思い出されます。

さて、年々身体の調子が気になる年齢になってきていることを実感しつつ、また気遣いながら、来年この有志達によります旅行の計画が進められています。

欲張りな面々はこの旅行を、「安く・楽しく」をモットーに少々ハメはずしながら楽しんでます。

今回は平成20年2月に沖縄に繰り出そうと盛り上がっております。

では、26期卒業生のみなさん、近況をお知らせ下さい！ [mitsue83@jb4.so-net.ne.jp](mailto:mitsue83@jb4.so-net.ne.jp)まで



# OBに作曲家!!!

その人は：昭和43年テレビ専門部卒業 長谷川 博順(ヒロノブ)氏

子供のころから音楽が好きだった自分…小学校2年の時、音楽担任の先生から「この子は、将来音楽家にしたらいいですよ!」と親がよく言われていたそうです。

高校卒業後は、家業の電気店を継ぐため、日本電子工学院に入学しました。迷わずクラブ・ブラックノートジャズオーケストラに入部しました。2年生になるとプロのバンドとして、渋谷・新宿のクラブやキャバレーで演奏活動を続けました。

卒業後は、家業を継ぐため田舎の会津に戻り、高校時代のバンド仲間とオーケストラをつくり活動をしました。3年目に入り演奏会を開き、ご当地ソングを手探りで作曲し、披露した処女作「会津慕情」をキングレコードから発売することになりました。

家業をしながら暇を見つけては、作曲という創作に没頭するようになり、生意気にも作曲家になりたい!と思い、「社団法人 日本作曲家協会」に入会しました。

その後は、悶々と過ごす日々でした。56歳の時、キングレコードから「居酒屋演歌」の発売にこぎつけ、さらに他のレコード会社から「あなたのふるさとだから」「望郷北国」「大漁おんな太鼓」「冬の海」「河津桜音頭」が発売されました。

そしてこの度、徳間ジャパンコミュニケーションから、メジャー歌手の金沢明子さんの新曲「紅吹雪」を7月4日から発売中です。

ここまでこられたのは、周りの皆様のお陰と若い時に夢見てそれに向けた一途な努力でチャンスを掴んだことかなあ…と思っています。辛いけれどもまっしぐらに進んでいる自分を見つめた時、物凄く不思議さを感じる今日この頃です。



自宅・事務所  
(有)長谷川商會が家業で、長谷川音楽事務所を兼ねています。  
作曲家名…長谷川ひろのぶ  
〒969-4406 福島県耶麻郡西会津町野沢字上原乙2464  
Tel & Fax : 0241-45-3839 E-Mail : abh-0608@axel.ocn.ne.jp

## 平成20年度入学生対象 OB・OG推薦制度について

本校は今年で創立60周年を迎えます。その記念事業の一環として卒業生の皆様方の子女、兄弟姉妹が本校に入学者の際、特典のある「OB・OG推薦制度」が平成18年度入学生より発足されました。是非ご活用下さい。

### 【OB・OG推薦制度】

この制度は、学校法人片柳学園の卒業生子女、兄弟姉妹、在校生の兄弟姉妹が入学する際、入学金を免除する制度です。

- 対象校 … 東京工科大学、日本工学院専門学校、日本工学院八王子専門学校、日本工学院北海道専門学校
- 対象者 … 日本工学院専門学校、日本工学院八王子専門学校、日本工学院北海道専門学校および東京工科大学を卒業した者および在籍しているものが推薦する孫、子女および兄弟姉妹
- 免除額 … 入学金全額(北海道校はお問い合わせください)
- 案内書・募集要項ご請求 … 広報課 0120-123-351
- OB・OG推薦書類ご請求 … 教務課 03-3732-1121

# かまた題字作家紹介

本校校友会誌の表紙題字は人間国宝の芹澤銑介(セリザワ ケイスケ)先生の筆によるものです。先生は本校1号館、6号館東側に流れる呑川の上流約150mに架かる馬引橋近くに、昭和9年から居を構えられ、爾来50年にわたって蒲田の地で型絵染の創作活動に没頭されておられました。昭和42年(1967年)10月発行の日本電子工学院校友会(校友会の前身の名称)会誌第2号以来表紙を飾っています。



## 芹澤 銑介 先生 略歴

明治28年(1895)	静岡市に生まれる。	昭和24年(1949)	女子美術大学教授となる。
大正5年(1916)	東京高等工業学校図案科卒業。	昭和31年(1956)	型絵染で重要無形文化財保持者(人間国宝)の指定を受ける。
大正14年(1926)	朝鮮の旅に出て京城及び慶州仏国を訪れる。往路、船中にて「大調和」誌の口絵及び柳宗悦氏の「工芸の道」に感動、生涯の一転機となる。	昭和38年(1963)	大原美術館工芸館第二期の棟方・芹澤両館落成。
昭和3年(1928)	沖繩紅型に感銘を受ける。	昭和41年(1966)	スペインのバルセロナにあるカタルーニャ美術館を訪れ、永年の念願を果す。その程復途上、エジプト、トルコおよび欧州各地を巡遊。紫綬褒章を受ける。
昭和6年(1931)	雑誌「工芸」が創刊され、その表紙を一年間受持つ。その型染布表紙は装幀の仕事への端緒となる。	昭和51年(1976)	文化功労者となる。フランスの国立グラン・パレ美術館において「芹澤銑介展」開催。
昭和7年(1932)	国画会会員・川端康成「雪国」装幀。	昭和58年(1983)	フランス政府から芸術功労勲章を贈られる。
昭和9年(1934)	東京蒲田町に移る。初めて仕事場に恵まれる。	昭和59年(1984)	4月5日死去(享年89歳)。
昭和13年(1938)	柳宗悦氏他民芸同人と共に沖繩に渡り紅型の技を受ける。		
昭和20年(1945)	型染めカレンダー創始。		

## 個人情報保護についての取組み

日本工学院専門学校校友会(以下校友会)では、個人情報保護法に基づき会員の個人情報の保護について、以下の取組みを実施しております。

- ① 校友会が保有する個人情報の適正な取扱いをするために、個人情報の保護に関する規程を定めました。
- ② 会員の個人情報は、必要な情報のみを適正かつ公正な手段によって収集させていただいております。得られた個人情報は、校友会誌「かまた」の発送ならびに学校法人片柳学園日本工学院専門学校および姉妹校(以下学校)からのお知らせを発送する際に利用いたします。また、会員に対する校友会窓口(koyukai@neec.ac.jp)を明示し、会員からの連絡が速やかに受けられるように致します。
- ③ 校友会では、会員よりいただいた個人情報を適切に管理し、会員本人の同意がない限り、校友会以外の第三者に対する個人情報の提供は致しません。
- ④ 個人情報の取扱いを含む業務を委託する場合は、受託者との間で契約により個人情報の再提供・漏洩などをしないよう義務づけを致します。
- ⑤ 会員が自己の個人情報に関して、開示・修正・変更等を希望される場合には、校友会窓口(koyukai@neec.ac.jp)までご連絡いただければ、迅速に対応致します。
- ⑥ 校友会では、上記①～⑥の項目について、見直し・改善の必要が発生した場合には、適宜対応していきます。

# 東京工科大学大学院ビジネススクールアントレプレナー専攻

## 起業・経営革新・スキルアップのための実践的大学院

東京工科大学大学院ビジネススクールアントレプレナー専攻は先端科学技術に明るく財務の知識と戦略的思考を身につけた起業家を、専攻独自の実践的カリキュラムを通じて育成します。

「起業」をキーワードに問題意識が高く、意欲旺盛な学生が参加しています。少人数制で行われる双方向参加型授業では、実社会の事例を教材とし、討論や対話を重ねさまざまな実践的知識を獲得することが可能です。これらの授業は、企業の経営トップとしての経験を持つ教授陣や、国内外で経営学、経済学、工学分野で博士号を取得した教授陣が担当します。

仕事と両立させながら、通学に便利な場所で、起業に必要な知識を身につけたいと考えている方、ビジネススキルを身につけたいと考えている方にお勧めします。

### アントレプレナー専攻の特色

- 日本工学院専門学校卒業生も本専攻にて勉強中。
- 蒲田キャンパス(日本工学院専門学校内)にて平日夜間(18時40分～)・土曜日に授業を開講。働きながらでも学べます!
- 入学金25万円を9万円に減額(本法人設置校出身者に限る)。
- 修士に挑戦! 大学を卒業していなくても出願可能。  
22歳以上であれば、事前審査を経て本学大学院の出願資格を得ることができます。事前審査は、大学院課で随時受け付けています。

**【平成20年度入試概要】** 入試相談は随時、大学院課(042-637-2115 grad@so.teu.ac.jp)にお問い合わせください。

	出願期間	面接試験日	合格発表日
A日程	平成19年8月20日(月)～9月6日(木)	平成19年9月16日(日)	平成19年9月21日(金)
B日程	平成19年11月8日(木)～11月29日(木)	平成19年12月9日(日)	平成19年12月14日(金)
C日程	平成20年1月17日(木)～2月6日(木)	平成20年2月17日(日)	平成20年2月22日(金)

### ●選考方法

一般入試と社会人入試の2種類の入試形態があります。

社会人経験が2年以上ある方は、社会人入試により出願することができます。

【一般入試】書類審査(出身校の成績・研究計画書)と面接試験によって選考。

【社会人入試】書類審査(実務経験等を記載した履歴書・研究計画書)と面接試験によって選考。

### ●学費(日本工学院専門学校出身者に対する入学金の減額措置あり)

・入学金: 250,000円(本法人設置校出身者は90,000円に減免します。また、本法人設置校出身者及び在学者の御子息、令嬢、令孫、御兄弟姉妹が入学された場合は、入学後入学金を返金する制度あり。)

・授業料: 1,095,000円(1年目) / 1,115,000円(2年目以降)

\* 授業料は上記の年額1/2ずつ分納としますが、1/4ずつの分納も可能です。

他にバイオニクス専攻、コンピュータサイエンス専攻、メディアサイエンス専攻があります。パンフレット・募集要項は無料です。

<https://www.teu.ac.jp/siryoku/grad/> からご請求ください。

東京工科大学大学院課 <http://www.teu.ac.jp/grad/>

TEL 042-637-2115(直) E-mail: grad@so.teu.ac.jp

<八王子キャンパス> 東京都八王子市片倉町1404-1 <蒲田サテライトキャンパス> 東京都大田区西蒲田5-23-22

## = 専攻長メッセージ =

### 挑戦する心をもつ意欲ある方の参加をお待ちしています。

アントレプレナー専攻専攻長/教授 尾崎 弘之

アントレプレナーシップ(起業家精神)は、イノベーションが重要視される21世紀のグローバル企業を担う人材に不可欠な要素であります。ベンチャー企業の創設、大企業における社内ベンチャー、中小企業の新規事業創造等、様々なケースで能力を発揮できる人材を養成することが、本専攻の目標です。また、テクノロジーの事業化を学生と議論し続けることも重要なテーマとして掲げています。入学選考は、学生が、



①企業活動を通じて社会に貢献しようという高い志を有しているか、②グローバルな感性を持っているか、③キラリと光る専門分野を持っているか、④新しい分野に対する好奇心があるか等のポイントを判断して実施されます。

挑戦する心と自己啓発の意欲がお持ちの日本工学院専門学校卒業生の方々の参加を心よりお待ちしております。

#### 経 歴

東京大学法学部卒業。ニューヨーク大学大学院修了(MBA)。早稲田大学大学院アジア太平洋研究科修了〔博士(学術)〕。野村証券入社後、本社、米国現地法人等で勤務。モルガン・スタンレー証券バイス・プレジデント、ゴールドマン・サックス投信執行役員勤務を経て、ソフトバンク・インベストメント(SBI)バイオ事業準備室長。SBI傘下でバイオビジョン・キャピタルを設立し、常務取締役COOを務める。その後バイオ・ベンチャーのディナバック取締役CFOを経て、現在東京工科大学大学院教授。早稲田大学客員教授(兼務)。その他、複数企業の社外取締役、顧問を務める。

## = 在学生メッセージ =

### 分野や経歴を超えて、視野も人脈も広がられます。



工藤 俊一郎さん

アントレプレナー専攻2年次生

1965年 日本電子工学院 放送技術部卒業

現在、民間放送事業者の業界団体である日本民間放送連盟に務めながらアントレプレナー専攻に通っています。仕事と大学院の二足の草鞋ですが、負担に感じたのは最初だけで、今は学校に来るのが本当に楽しいですね。仕事から離れ、様々な経歴やバックボーンを持つ人たちと真剣に議論できる時間は、新鮮で有意義なもの。視野や見聞、人脈も広がりますし、サラリーマンの人たちは、ぜひ、経験したらいと思えますね。

私が大学院を志望したのは、いよいよ定年を迎えることになり、若いときに学びそびれたことをじっくり勉強できると思ったから。やっぱり人間は一生勉強が大切でしょう。でも結局は、職場に残るよう説得して下さる人がいて今も仕事に追われる身ですけど(笑)

ここにはいろいろな学習目的を持つ学生が集まっていますが、私が在学中の目標にしているのは、民間放送の経営改善に役立つ提言を論文としてまとめること。今、放送事業者はデジタルテレビ放送に対応するための過大な設備投資の必要に迫られ、とくに地方局の経営は厳しい局面に立たされています。しかし、地方民放局の経営の参考になる文献や研究資料は世の中にほとんどないのが現実。民放連に身を置く私にとっては身近な問題ですから、ぜひきちんと取り組みたいと考えています。

私自身はベンチャー経営者を目指すつもりはありませんが、ここで一緒に学ぶ仲間が有望なビジネスアイデアを持っていたら、これまでの経験を生かしたり、資金協力などの形で関わりたいとは考えています。この専攻から世の中を動かす新ビジネスや起業家が早く生まれ出てほしいし、そのお手伝いができたらうれしいですね。

## 学校法人 片柳学園のOB・OG推薦による入学金免除制度設置

学校法人 片柳学園 (日本工学院専門学校・日本工学院八王子専門学校・日本工学院北海道専門学校・東京工科大学) の卒業生の子・兄弟姉妹、在籍生の兄弟姉妹が入学する際に、入学金が免除される制度を設置しています。



### 日本工学院専門学校

〒144-8655 東京都大田区西蒲田5-23-22  
TEL.03-3732-1111 (代表)  
URL <http://www.neec.ac.jp/>

#### クリエイティブカレッジ

放送・映画科  
声優・俳優科  
(声優・俳優/舞台スタッフコース)  
マンガ・アニメーション科  
ゲームクリエイター科  
コンピュータグラフィックス科  
クリエイティブラボラトリー(4年制)  
(高度アニメーション/高度ゲーム/高度CGコース)  
Webデザイン科  
グラフィックデザイン科

#### ミュージックカレッジ

ミュージックアーティスト科  
(プレイヤー/ヴォーカリスト/作曲・編曲コース)  
コンサート・イベント科  
レコーディングクリエイター科  
(レコーディングエンジニア/ラジオミキサー/  
MAエンジニア/Pro Toolsエキスパート専攻)  
ダンスパフォーマンス科

#### ITカレッジ

ITスペシャリスト科 (4年制)  
(システム/組込みシステム/Web/ネットワー  
ク/セキュリティ専攻)

#### 情報学科

(ソフトウェア/Web/情報コース)  
パソコン・ネットワーク科  
情報ビジネス科

#### テクノロジーカレッジ

電子・電気・CAD科  
(電子工学/電気工学/電気工学士/機械設計・CAD専攻)  
バイオテクノロジー科  
(医薬/バイオ/化粧品/食品/バイオ/  
環境/バイオ専攻)  
テクノロジー研究科★  
建築設計科  
インテリアデザイン科  
プロダクトデザイン科

#### 医療カレッジ

理学療法学科  
作業療法学科  
臨床工学科  
臨床工学専攻科(1年制)  
臨床工学専攻科(夜間)  
医療秘書・事務科  
(医療秘書/医療事務コース)  
診療情報管理士科(3年制)★

★2008年度新設



### 日本工学院八王子専門学校

〒192-0988 東京都八王子市片倉町1404-1  
TEL.042-637-3111 (代表)  
URL <http://www.neec.ac.jp/>

#### クリエイティブカレッジ

放送・映画科  
声優・俳優科  
マンガ・アニメーション科  
ゲームクリエイター科  
コンピュータグラフィックス科  
クリエイティブラボラトリー(4年制)  
(高度アニメーション/高度ゲーム/高度CGコース)  
Webデザイン科  
グラフィックデザイン科

#### ミュージックカレッジ

ミュージックアーティスト科  
(プレイヤー/ヴォーカリスト/作曲・編曲コース)  
コンサート・イベント科  
レコーディングクリエイター科  
(レコーディングエンジニア/ラジオミキサー/  
MAエンジニア/Pro Toolsエキスパート専攻)

#### ITカレッジ

ITスペシャリスト科 (4年制)  
(システム/組込みシステム/Web/ネットワー  
ク/セキュリティ専攻)

#### 情報学科

(ソフトウェア/Web/情報コース)  
パソコン・ネットワーク科  
情報ビジネス科

#### テクノロジーカレッジ

電子・電気・CAD科  
(電子工学/電気工学/電気工学士/機械設計・CAD専攻)  
ロボット科  
バイオテクノロジー科  
(医薬/バイオ/化粧品/食品/バイオ/環境/バイオ専攻)  
テクノロジー研究科★  
一級自動車整備科(4年制)  
自動車整備科  
建築設計科  
インテリアデザイン科  
プロダクトデザイン科  
建築デザイン研究科

#### 医療カレッジ

鍼灸科  
柔道整復科  
医療秘書・事務科  
(医療秘書/医療事務コース)  
診療情報管理士科(3年制)★

#### スポーツカレッジ

健康スポーツエキスパート科(3年制)  
(トータルスポーツトレーナー/パーソナルグレートレーナー/  
幼稚園教諭 保育士/スポーツビジネスコース)  
健康スポーツ科学科  
(スポーツトレーナー/パーソナルトレーナー/フィットネス  
トレーナー/スポーツインストラクター/チャイルドインス  
トラクター/サッカー/テニスコース)★2008年度新設



### 東京工科大学

〒192-0982 東京都八王子市片倉町1404-1  
TEL.042-637-2111 (代表)  
URL <http://www.teu.ac.jp/>



マルチメディア・コンピュータ系  
ゲームクリエイター科  
アニメ・CG・Web科  
(アニメーション/CG/Webデザインコース)  
情報処理科  
公務員系  
行政学科  
建築系  
建築学科

先端化粧品コース  
臨床工学技士コース  
メディア学部  
エンタテインメント・メディア・コース  
ビジネス・メディア・コース  
ライフ・メディア・コース  
東京工科大学大学院  
バイオニクス専攻  
メディアサイエンス専攻  
コンピュータサイエンス専攻  
アントレプレナー専攻

学費サポートシステム  
誕生



### 日本工学院北海道専門学校

〒059-8601 北海道登別市札内町184-3  
TEL.0143-88-0888 (代表)  
URL <http://www.nkhs.ac.jp/>